

基本目標5 「みんなが元気・輝きとくしま」の実現

【重点戦略3】

障がい者が支える社会の構築

主要事業実施工程表 (5-3 障がい者が支える社会の構築)

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)			
	H27	H28	H29	H30
1 障がい者の自立支援の推進 (長期: 1, 中期: I-3②)				
主要指標 <ul style="list-style-type: none"> ○民間企業の障がい者雇用率 2.00% (法定雇用率) 				
<ul style="list-style-type: none"> ● 「徳島県障がい者の雇用の促進等に関する条例」に基づき、事業主への障がい者雇用に関する情報提供や理解促進のための支援のほか、職場定着に向けて、教育・福祉などの関係機関と連携した職業訓練の拡充を行い、障がい者の職業的自立を支援します。<商工> <ul style="list-style-type: none"> ○民間企業の障がい者雇用率 <ul style="list-style-type: none"> ㉔1.78%→㉓2.00% (法定雇用率) ○法定雇用率「達成企業」の割合 <ul style="list-style-type: none"> ㉔全国14位→㉓全国10位以内 	推進			
	1.92%	1.95%	1.97%	2.00%
	10位			
<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者の働く意欲と能力に応じて働ける社会づくりを推進するため、就労支援事業所の生産品の販路拡大などによる事業所経営の改善支援等により、施設利用者の工賃*のアップを図ります。<保健> <ul style="list-style-type: none"> ○施設利用者の工賃 (月額) <ul style="list-style-type: none"> ㉔19,299円→㉓約22,200円 (全国㉔14,437円) ○施設利用者の平均工賃全国順位 <ul style="list-style-type: none"> ㉔全国2位→㉓全国1位 	推進			
	20,500円	21,300円	21,700円	22,200円
				全国1位
<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者が高齢者に対し、日用品等の移動販売や見守り活動を行うことにより、働く意欲と特性に応じ活躍できる場を創出し、地域に貢献する活動の推進を図ります。<保健> <ul style="list-style-type: none"> ○実施地域数 <ul style="list-style-type: none"> ㉔1地域→㉓6地域 	推進			
	3地域	4地域	5地域	6地域
<ul style="list-style-type: none"> ● すべての障がい者にとって一層の権利擁護が図られる条例を制定し、障がいのある人もない人もお互いに支え合いながら、生き活きと心豊かに暮らせる共生社会の実現を目指します。<保健> <ul style="list-style-type: none"> ○「障がいのある人もない人も暮らしやすい徳島づくり条例」の制定・推進 <ul style="list-style-type: none"> ㉔制定 ○「障害者差別解消支援地域協議会」の設置・開催 <ul style="list-style-type: none"> ㉔設置・開催 	制定	推進		
<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者の就労時間に配慮した障がい児の受入れを行う指定障がい児通所支援事業所の設置を推進します。<保健> <ul style="list-style-type: none"> ○17時以降も営業する指定放課後等デイサービス事業所数 <ul style="list-style-type: none"> ㉔36か所→㉓58か所 	推進			
	55か所	56か所	57か所	58か所

主要事業実施工程表（5-3 障がい者が支える社会の構築）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● グループホームの整備を促進し、生活基盤の充実を図り、障がい者の地域生活への移行を推進します。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○グループホームの定員数 ㉕577人→㉗675人 	推進			→
	590人	655人	665人	675人
<ul style="list-style-type: none"> ● 県西部圏域において、地元企業等と連携して障がい者が農作物の作付けを行う「チャレンジドファーム」を開設し、農業分野における障がい者の就労を促進します。＜西部＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「チャレンジドファーム」における障がい者就労者数 ㉕1人→㉗～㉙年間10人以上 	推進			→
	10人	10人	10人	10人
2 発達障がい者（児）への支援（長期：1、中期：I-3㉔）				
主要指標 ○「発達障がい者総合支援センター」の就労支援件数 1,500件				
<ul style="list-style-type: none"> ● 発達障がい者（児）を支援する施設を集約した「全国に先駆けた」総合的な支援体制（ゾーン）の充実を図るため、県西部に新たな拠点を整備し、県下全域で発達障がい者（児）とその家族が抱える「不安の軽減」及び発達障がい者の「自立と社会参加」の促進を図るとともに、教育・医療・就労の各機関との連携により、きめ細やかな発達障がい者（児）の支援を推進します。＜保健・商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「発達障がい者総合支援センター」の就労支援件数 ㉕968件→㉗1,500件 ○「発達障がい者総合支援センター」の相談件数 ㉕2,469件→㉗3,500件 ○発達障がい児支援専門員養成数 ㉕1人→㉗～㉙年間15人 ○「発達障がい者総合支援プラン（仮称）」の策定 ㉗策定 ○「発達障がい者総合支援センターアイリス（美馬市）」の開設 ㉗開設 ○「アイリス」と「西部テクノスクール」が連携した職業訓練の実施 ㉗実施 	推進			→
	1,200件	1,300件	1,400件	1,500件
	2,900件	3,100件	3,300件	3,500件
	15人	15人	15人	15人
3 障がい者の社会参加の推進（長期：1、中期：I-3㉔）				
主要指標 ○「障がい者交流プラザ」の利用者数 13万人				
<ul style="list-style-type: none"> ● 「障がい者交流プラザ」を活用し、障がいのある人もない人もスポーツや芸術・文化活動等を通じて、社会参加と交流を促進します。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「障がい者交流プラザ」の利用者数 ㉕129,985人→㉗～㉙年間13万人 	推進			→
	13万人	13万人	13万人	13万人

主要事業実施工程表（5-3 障がい者が支える社会の構築）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、障がい特性に応じて日常生活をサポートし、自立と社会参加を促進します。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○補助犬*の育成頭数（累計） <ul style="list-style-type: none"> ㊦15頭→㊰19頭 ○県登録意思疎通支援者数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦104人→㊰138人 	推進			
	16頭	17頭	18頭	19頭
	123人	128人	133人	138人
<ul style="list-style-type: none"> ● 優れた技術・技能を有する障がい者を「徳島県障がい者マイスター」として認定・表彰することで、さらなる意欲の向上と就労・社会参加の一層の促進を図ります。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○障がい者マイスター認定者数（累計） <ul style="list-style-type: none"> ㊦1→㊰16人 	推進			
	7人	10人	13人	16人
<ul style="list-style-type: none"> ● 県内小、中、高、特別支援学校において「障がい者トップアスリートによる講演会」を開催し、障がい者スポーツの素晴らしさを伝え、その理解を深めることにより、徳島から2020年東京パラリンピックの気運の醸成を図ります。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○障がい者トップアスリート講演会実施回数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦1→㊰10回 	推進			
	10回	10回	10回	10回
<ul style="list-style-type: none"> ● 国際大会や全国大会で活躍が期待される障がい者スポーツ選手を支援し、本県からパラリンピック及びデフリンピック*の出場選手を輩出することにより、障がい者の自立と社会参加へのさらなる意欲の向上と県民理解の一層の促進を図ります。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○パラリンピック等育成強化選手数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦1→㊰3人 	推進			
	3人	3人	3人	3人
4 障がい福祉サービスの充実（長期：1，中期：1-3㊲）				
主要指標		○サービス管理責任者研修の修了者数		
		1,800人		
<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい福祉サービスを充実するための人材を養成します。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○サービス管理責任者研修の修了者数（累計） <ul style="list-style-type: none"> ㊦1,215人→㊰1,800人 ○相談支援従事者研修の修了者数（累計） <ul style="list-style-type: none"> ㊦1,982人→㊰2,800人 	推進			
	1,440人	1,560人	1,680人	1,800人
	2,350人	2,500人	2,650人	2,800人
<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者のコミュニケーション手段等を確保するため、手話通訳者、要約筆記者*、盲ろう者向け通訳・介助員、点訳奉仕員*、音訳奉仕員*など専門的知識・技能を有する各種人材を養成します。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○県登録意思疎通支援者数（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ㊦104人→㊰138人 	推進			
	123人	128人	133人	138人
<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者のスポーツ・レクリエーション活動や生きがいづくりの支援の強化を図ります。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○人材バンク活用による障がい者スポーツ指導員の派遣・指導件数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦110件→㊰110件 	推進			
	110件	110件	110件	110件

基本目標5 「みんなが元気・輝きとくしま」の実現

【重点戦略4】

いきいき健康とくしまの推進

主要事業実施工程表（5-4 いきいき健康とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 「総合メディカルゾーン」の整備（長期：Ⅰ、中期：Ⅱ-4）				
<p>主要指標</p> <p>○県立病院における初期・後期臨床研修医数 55名</p>				
<p>● 県民医療の発展と地域医療の再生をめざす医療拠点である「総合メディカルゾーン*」については、隣接する県立中央病院と徳島大学病院を本部、県立三好病院を西部センター、県立海部病院を南部センターとし、それぞれ医療拠点としての充実強化を図るとともに、相互の連携を推進することにより、県下全域の医療の最適化に取り組みます。<危機・保健・県土・病院></p> <p>医療人材の育成</p> <p>○県立病院における初期・後期臨床研修医数 ②⑤31名→③①55名</p> <p>○海部病院・地域医療研究センターの充実</p> <p>拠点機能向上のための施設整備</p> <p>○中央病院（本部）の整備 ②⑦外来駐車場整備等着手→②⑧整備完了</p> <p>○三好病院（西部センター）の整備 ②⑤低層棟改修工事着手→②⑦工事完了 ②⑦外来駐車場整備等着手・完了</p> <p>○海部病院（南部センター）の整備 ②⑤建築工事着手→②⑥完成</p> <p>医療提供体制の充実</p> <p>○救急医療、小児医療、周産期医療、地域医療及びがん医療等の医療提供体制の整備</p> <p>災害対応力の強化</p> <p>○災害拠点病院間の連携体制強化 ②⑥～③①訓練等の相互参加 ②⑦～③①災害時備蓄品等の共同購入 ②⑧～③①大規模災害合同訓練の実施</p> <p>○三好病院の沿岸部への後方支援機能強化 ②⑦ドクターヘリCS室の整備、災害対策本部機能の充実</p> <p>ICT（情報通信技術）の活用</p> <p>○県立3病院の医療情報システムの統一 ③①システムの一斉更新</p>	推進			
<p>● 県立病院における「新公立病院改革プラン」を策定し、高度・先進医療や救急医療等の政策医療を安定的かつ継続的に推進します。<病院></p>			策定・推進	推進

主要事業実施工程表（5-4 いきいき健康とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域がん診療病院である県立三好病院において、県立中央病院との連携により、がん治療体制を強化するとともに、がんに関する各種の情報提供などの普及啓発により、地域のがん患者及びその家族のがんに関する不安の解消に取り組みます。＜病院＞ <ul style="list-style-type: none"> ○県民・医療従事者への情報提供（公開講座、勉強会、広報誌、リーフレットなど） ⑲7回→⑳30回 	推進 18回	22回	26回	30回
<p>2 安全・安心な地域医療体制の充実（長期：1，中期：Ⅱ-4）</p> <p>主要指標 ○医師修学資金貸与者数 95人</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 県内における地域医療を守るための仕組みを検討するとともに、医師修学資金の貸付や夏期地域医療研修の開催などにより、地域医療を担う医師等の養成・確保を図ります。また、海部・那賀地域の医師不足に対応するため、移転改築後の海部病院内に、若手医師・医学生の研修・実習の拠点となる地域医療研究センター（仮称）を開設するとともに、<u>海部・那賀地域の公的医療機関が一体となった医療提供体制（海部・那賀モデル）を構築します。</u>＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○医師修学資金貸与者数（累計） ⑲59人→⑳95人 ○地域医療研修の実施地域 ⑲3地域→⑳3地域 ○<u>海部・那賀地域の公的医療機関が一体となった医療提供体制の構築</u> ⑳構築 	推進 70人 3地域	80人 3地域	90人 3地域	95人 3地域
<ul style="list-style-type: none"> ● 「美波町国民健康保険由岐病院」と「美波町国民健康保険日和佐病院」を統合・再編し、高台への移転改築により、災害時における医療提供体制を確保するとともに、美波町における総合的・継続的な医療サービス提供体制の確保を図ります。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「国民健康保険美波病院」の整備 ⑲開院 		開院		
<ul style="list-style-type: none"> ● 「徳島赤十字病院日帰り手術センター（仮称）」の整備により、短期入院症例の外来化を図り、急性期病院と地域の医療機関等との連携体制の強化と在宅医療への移行を進めるとともに、外来化により確保した空床をもって地域の医療機関からの紹介患者や救急患者の受け入れを推進します。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「徳島赤十字病院日帰り手術センター（仮称）」の整備 ⑲開設 			開設	
<ul style="list-style-type: none"> ● 阿南医師会中央病院と阿南共栄病院の統合により、新たに設立される「<u>阿南医療センター</u>」を地域包括ケアシステムの中核拠点として整備します。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「阿南医療センター」の整備 ⑲開院 			開院	

主要事業実施工程表（5-4 いきいき健康とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 看護職員の養成及び県内定着促進・離職防止、再就業の支援を行うため、ナースセンター機能を強化し、地域の実情に応じた看護職員確保対策を推進します。＜保健＞</p> <p>○看護職員従事者数 ⑳12,592人→㉑13,312人</p> <p>○60歳以上の就業看護職員数 ⑳2,054人→㉑2,774人</p>	推進	13,072人 2,534人		13,312人 2,774人
<p>● 地域の医療提供体制の充実を図るため、徳島大学への寄附講座設置や地域医療支援センターの登録医師確保などにより、県立病院等の医師不足病院における医師・診療科の確保を図ります。＜保健＞</p> <p>○地域医療支援センター登録医師数 ㉑→㉒17人</p> <p>○徳島大学に 県立病院の診療機能を補完する寄附講座の設置 ㉑～㉒推進</p>	推進		5人	17人
<p>● 在宅医療を推進するため、在宅患者を訪問し、薬学的管理指導に対応できる薬局の増加を図るとともに、薬剤師資質の更なる向上に取り組みます。＜保健＞</p> <p>○患者の居宅等において調剤が可能な薬局数 ㉑235件→㉒275件</p>	推進	260件	265件	270件 275件
<p>● 少子高齢化が進むことから、血液製剤の安定供給の確保を図るため、これからの献血を支えていく若年層に対し、献血思想の普及を図ります。また、若年層に向けた各種啓発を実施し、献血者の増加を図ります。＜保健＞</p> <p>○高等学校の学内における学生の献血受付者数 ㉑177人→㉒～㉓年間200人</p> <p>○献血モバイル会員登録者数 ㉑3,192人→㉒9,500人</p>	支援	200人 4,300人	200人 7,500人	200人 8,500人 9,500人
<p>● 地方独立行政法人鳴門病院の運営において、中期計画を着実に推進し、県北部の中核病院としての充実、地域の医療水準の向上を図ります。＜保健＞</p> <p>○次期「中期計画」の策定・推進 ㉑策定</p>	推進		策定	推進

主要事業実施工程表（5-4 いきいき健康とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
3 がん対策の推進（長期：1，中期：Ⅱ-4）				
主要指標 ○がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）	65.3			
●「がん診療連携拠点病院」等の空白医療圏をなくすため、国指定がん治療連携拠点病院等がある2次医療圏域を増やすことにより、がん診療体制の整備の充実を図るとともに、地域連携クリティカルパス*の推進等により、身近な地域で本人の意向を尊重した「がん治療」が受けられる環境づくりを進めるとともに、がん検診の受診率の向上による死亡者の減少と治療の初期段階からの緩和ケアの実施によるがん患者及びその家族の療養生活の質の維持向上を図ります。＜保健＞	推進			→
○がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対） ㉔76.6（全国80.1 15位） →㉓65.3	70.6	68.8	67.1	65.3
○国指定がん診療連携拠点病院等がある2次医療圏域数（県内3圏域） ㉔2圏域→㉓3圏域	3圏域	3圏域	3圏域	3圏域
○がん検診受診率の向上 ㉔胃35.1%、大腸33.5%、肺39.5%、乳房33.1%、子宮31.9% →㉓胃・大腸・肺当面40%、乳房・子宮50%				
○がん患者支援団体等が行う事業で働くがん患者・経験者の延べ人数 ㉔1→㉓25人	10人	15人	20人	25人
●「徳島がん対策センター」において、県内のがん医療における在宅医療や、がん患者及びその家族に対する支援を推進します。＜保健＞	推進			→
○在宅緩和ケアに関する研修会の参加者数 ㉔155名→㉓300名	215名	245名	275名	300名
○徳島がん対策センターにおける相談件数 ㉔149件→㉓300件	210件	240件	270件	300件
○ホームページへのアクセス件数 ㉔68,837件→㉓88,000件	75,900件	79,700件	83,700件	88,000件

主要事業実施工程表（5-4 「いきいき健康とくしま」の推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				
	H27	H28	H29	H30	
4 救命救急医療体制の充実（長期：Ⅰ，中期：Ⅱ-4）					
主要指標 ○#8000の認知度 80%					
<ul style="list-style-type: none"> ● 小児救急電話相談事業（#8000）の利用促進のための周知を図るとともに、#8000を活用し、すぐに病院にかかる必要がある小児患者の情報を医療機関等に提供するモデル事業を実施し、安心して子育てができる環境整備を図ります。（再掲）＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○#8000の認知度 <ul style="list-style-type: none"> ㉕→㉗80% ○#8000の相談実績 <ul style="list-style-type: none"> ㉕7,927件→㉗8,250件 ○「#8000」徳島こども救急電話相談の新システムスタート <ul style="list-style-type: none"> ㉗実施 ● 県下全域におけるドクターヘリの運航に加え、近隣県におけるドクターヘリとの相互応援や消防防災ヘリとの連携による、二重・三重のセーフティネットを充実し、救急患者の救命率の向上や後遺症の軽減を図ります。また、ドクターヘリの臨時離着陸場（ランデブーポイント）の整備充実を図ります。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○臨時離着陸場数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕218箇所→㉗250箇所 ● 緊急な医療を必要とする精神障がい者等が、迅速かつ適切な医療を受けられるよう、引き続き精神科救急医療体制の確保を図ります。＜保健＞ 	推進				→
	50%	60%	70%	80%	
	7,950件	8,050件	8,150件	8,250件	
	運航				→
225箇所	235箇所	245箇所	250箇所		
	推進				→

主要事業実施工程表 (5-4 いきいき健康とくしまの推進)

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	
5 健康寿命の延伸 (長期: 1, 中期: II-5)					
<p>主要指標</p> <p>○健康寿命の延伸 平均寿命と健康寿命の差の縮小 男 9.54 (全国 9.13) 女 13.48 (全国 12.68)</p>					
<p>● 「すべての県民が共に支え合い、心身ともに健康で幸せに暮らせる徳島づくり」を実現するため、関係機関・団体と連携を図りながら「徳島県健康増進計画 (健康徳島21)」を推進します。 また、正しい「健・幸・食」情報を発信する「食のコンシェルジュ」を全県的に拡大展開し、『「食」から徳島を元気に!』を合い言葉に、「食べること」から元気で活力ある「とくしまづくり」を推進します。<保健></p> <p>○健康寿命*の延伸 ⑳→㉑平均寿命と健康寿命の差の縮小 男 9.54 (全国 9.13) 女 13.48 (全国 12.68)</p> <p>○「健康とくしま応援団」のうち、野菜摂取量アップ対策及び食環境づくりに取り組む事業所数 (累計) ㉕683事業所→㉗1,000事業所</p> <p>○野菜摂取量アップ対策に取り組む事業所 (食のコンシェルジュ) が所在する市町村数 ㉕18市町村→㉗24市町村 (全県展開)</p> <p>○「徳島県健康増進計画」の推進 ㉗~㉙推進</p>	推進				
<p>● 県内における糖尿病死亡率の改善をはじめ、スポーツやレクリエーションを通し、県民の健康増進を図るため、西部圏域の拠点として、「西部健康防災公園」の整備を推進します。<県土></p> <p>○西部健康防災公園の整備 ㉘健康増進施設の着工</p>	推進	820事業所	880事業所	940事業所	1,000事業所
<p>● 介護予防に重点を置いた健康づくりを推進するため、介護予防リーダーの継続的な養成を図るとともに、各市町村に設置している介護予防活動推進協議会を核として介護予防リーダーの活動の場づくりを推進します。<保健></p> <p>○「介護予防リーダー」技能向上研修の受講者数 (累計) ㉕500人→㉗980人</p>	推進	20市町村	24市町村	24市町村	24市町村
<p>● 生活習慣の改善を通じて生活習慣病の発症や重症化の予防等を推進することにより、三大疾病である「がん、心疾患、脳卒中」の死亡率改善を図ります。<保健></p> <p>○三大疾病による壮年期死亡率 (壮年期人口10万対) ㉕164.1→㉗151.1</p>	推進	620人	740人	860人	980人
	推進	158.9	156.3	153.7	151.1

主要事業実施工程表（5-4 いきいき健康とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 喫煙習慣の改善、受動喫煙防止対策を推進することにより、長期の喫煙習慣が主な原因であるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の死亡率改善を図ります。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○COPDの認知度（内容を知っている）の向上 <ul style="list-style-type: none"> ㊦20%→㊧50% 	推進			
	30%	35%	40%	50%
6 糖尿病対策の推進（長期：Ⅰ、中期：Ⅱ-5）				
主要指標 ○糖尿病粗死亡率 全国最下位からの脱出				
<ul style="list-style-type: none"> ● 糖尿病をはじめとする生活習慣病対策を推進するために、「みんなでつくろう！健康とくしま県民会議」を推進母体として、県民総ぐるみによる健康づくり運動を展開し、県民一人ひとりの健康意識の向上を図ります。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病粗死亡率 <ul style="list-style-type: none"> ㊦全国最下位→㊧～㊨全国最下位からの脱出 ○特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診率 <ul style="list-style-type: none"> ㊦42.9%→㊧70% ・特定保健指導の実施率 <ul style="list-style-type: none"> ㊦28.6%→㊧45% 	推進			
			70%	45%
<ul style="list-style-type: none"> ● 糖尿病患者の重症化・合併症の予防を推進するため、「かかりつけ医」と「糖尿病専門治療機関等」との間で「糖尿病連携手帳」を活用し、糖尿病患者が効果的・効率的な治療・指導を円滑に受けられる体制整備の充実を図ります。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病の診療を行っている医療施設（327施設）のうち、「糖尿病連携手帳」を活用している施設数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦131施設→㊧150施設 	推進			
	139施設	143施設	147施設	150施設
<ul style="list-style-type: none"> ● 運動習慣の定着や身体活動の増加を目指すため、ウォーキングなどに取り組みやすい環境整備を推進することにより、糖尿病をはじめとする生活習慣病予防を図ります。＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ウォーキング・ラリーへの参加者数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦2,459人→㊧～㊨年間2,500人 	推進			
	2,500人	2,500人	2,500人	2,500人

主要事業実施工程表 (5-4 いきいき健康とくしまの推進)

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					
	H27	H28	H29	H30		
7 食育の推進 (長期: 1, 中期: I-5④)						
主要指標 ○肥満傾向の児童生徒数 (小中学校) H25年度比8%減						
<ul style="list-style-type: none"> ● 「元氣なあわっ子憲章」を制定し、子供たちが健康について学び、自ら考え、実践できるよう、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して取り組みます。特に、子供たちの望ましい生活習慣の定着を図るため、すべての小中高校で生活習慣改善計画を策定し、実践に取り組むことにより、肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。さらに、地場産物を活用した学校給食の推進や、食に関する指導の充実のために、栄養教諭の配置を拡充し、徳島の産物や食文化への理解を深めるなど、徳島ならではの魅力ある食育を推進します。<教育> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「元氣なあわっ子憲章」の制定 <ul style="list-style-type: none"> ㉗制定 ○ 肥満傾向の児童生徒数 (小中学校) <ul style="list-style-type: none"> ㉕5, 437人→㉚H25年度比8%減 ○ 学校給食に地場産物を活用する割合 <ul style="list-style-type: none"> 過去10年間の平均32.7%→㉗~㉚35% ○ 小中学校への栄養教諭の配置人数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕49人→㉚60人 ○ 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を実施する学年の割合 <ul style="list-style-type: none"> ㉕11.1%→㉚55.5% ● 学校や地域における食育を効果的に進めるため、食育推進活動の実践や地産地消料理の普及を担う、中・高校生ジュニアリーダーや大学生等の若手リーダーを育成します。<農林> <ul style="list-style-type: none"> ○ ジュニア・若手食育リーダー数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕一→㉚200人 ● 中食・外食を利用して手軽に県産農林水産物を食べていただくため、地産地消に積極的な飲食店や弁当・惣菜店の登録を進めます。<農林> <ul style="list-style-type: none"> ○ とくしま食巡りの店、働くパパ・ママ食の応援店数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕97店→㉚200店 ● 県民運動として計画的な食育推進を図るため、「第3次徳島県食育推進計画」を策定するとともに、一体的な推進のため、全市町村における食育推進計画が切れ目なく策定されるように働きかけます。<農林> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「第3次徳島県食育推進計画」の策定 <ul style="list-style-type: none"> ㉗策定 ● 料理コンクール等で募集した地産地消料理や伝統料理レシピを広く普及するため、料理検索サイト等への掲載や、ホームページ「とくしま食育応援団」を拡充するとともに、内容の充実を図っていきます。<農林> 	推進					
		2%減	4%減	6%減	8%減	
		35%	35%	35%	35%	
		52人	54人	57人	60人	
		33.3%	44.4%	55.5%	55.5%	
		推進				
	50人	100人	150人	200人		
	推進					
	125店	150店	175店	200店		
	策定	推進				
	推進					

主要事業実施工程表（5-4 いきいき健康とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>8 歯科保健の充実（長期：1，中期：Ⅱ-5）</p> <p>主要指標 ○80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の増加 30.0%</p>				
<p>● 県民の健康な歯と口腔を保つため、「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」に基づき「徳島県歯科口腔保健推進計画」を推進し、県民自らの日常生活における歯と口腔の健康づくりに係る取組みを促進するとともに、生涯にわたる健康の保持増進に大きく影響する乳幼児期の歯科保健対策を推進します。＜保健＞</p> <p>○80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の増加 ㉓24.7%→㉔30.0%</p> <p>○3歳児でう蝕のない者の増加 ㉕74.8%→㉖81.3%</p>	推進			
	77.4%	78.7%	80.0%	81.3%
<p>9 感染症対策の充実強化（長期：1，中期：Ⅱ-5）</p> <p>主要指標 ○結核健康診断受診率の向上 90%</p>				
<p>● 感染症のまん延を防止するため、感染症の発生動向を早期かつ的確に把握、分析し、地域に情報発信を行うとともに、適切な医療を行うための体制整備を進めます。＜保健＞</p> <p>○結核健康診断受診率の向上 ㉗85.8%→㉘90%</p>	推進			
	87%	88%	89%	90%
<p>● 新型インフルエンザ対策として、県民への迅速・的確な情報提供、診療体制の整備、抗インフルエンザ薬の確保、ワクチン接種対応等、年間を通じた対応を推進します。＜保健＞</p> <p>○新型インフルエンザ等感染症の対策訓練 ㉙実施→㉚～㉛毎年実施</p>	推進			
<p>● 徳島県肝炎対策協議会で肝炎対策について協議し、総合的な肝炎対策を推進します。また、ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療のため、検査・治療体制の充実を図るなど、肝炎対策を推進します。＜保健＞</p>	推進			
<p>10 難病対策の推進（長期：1，中期：Ⅱ-5）</p> <p>主要指標 ○新・難病医療拠点病院の指定 1病院</p>				
<p>● 難病の制度改革にあわせ、難病患者に対する良質かつ適切な医療の確保と難病患者の療養の質の向上を図ることを目的に、地域の医療機関の連携による難病医療体制を整備し、難病相談・支援センターの機能強化を図ります。＜保健＞</p> <p>○新・難病医療拠点病院の指定 ㉜一→㉝1病院</p>	推進			
			1病院	

主要事業実施工程表 (5-4 いきいき健康とくしまの推進)

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)			
	H27	H28	H29	H30
<p>1.1 自殺対策の推進 (長期: 1, 中期: II-5)</p> <p>主要指標 ○自殺予防サポーター数 30,000人</p>				
<p>●「徳島県自殺者ゼロ作戦」に基づき、行政及び民間団体における相談機能の強化や連携体制の構築等により、自殺予防を強力に推進するとともに、「徳島県自殺予防サポーター」(ゲートキーパー※、傾聴ボランティアなど自殺予防、傾聴の研修受講者)など、心のケアサポーターの更なる養成に努め、地域における自殺対策の推進を図ります。<保健></p> <p>○自殺予防サポーター数 ②5 11,915人→③0 30,000人</p> <p>○自殺予防活動協定団体数 ②5 28団体→③0 52団体</p>	推進			
	18千人	22千人	26千人	30千人
	35団体	44団体	48団体	52団体
<p>1.2 ひきこもりに関する相談体制の充実 (長期: 1, 中期: II-5)</p> <p>主要指標 ○ひきこもり支援員養成数 10人</p>				
<p>●ひきこもり状態にある本人や家族の社会的参加を促進するために、臨床心理士等の専門家を対象とした「ひきこもり支援員」を養成し、ひきこもりに関する相談業務や支援ネットワークの構築を図ります<保健></p> <p>○ひきこもり支援員養成数 ②5 1人→②7~③0年間10人</p>	推進			
	10人	10人	10人	10人
<p>1.3 人権教育・啓発の推進 (長期: 1, 中期: I-4②)</p> <p>主要指標 ○「あいぽーと徳島(人権教育啓発推進センター)」事業参加者・利用者数 34,500人</p>				
<p>●「すべての人々の人権が尊重され、相互に共存しうる平和で豊かな社会」を実現するため、「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、国、市町村、NPO等と連携を図りながら、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人など様々な人権問題の解決を目指し、人権教育啓発に係る諸施策を総合的かつ計画的に推進します。</p> <p>また、県民一人ひとりの人権が互いに尊重され擁護される社会を築くため、「あいぽーと徳島(人権教育啓発推進センター)」を拠点として、様々な人権課題や人権全般について県民が気軽に学習や相談等ができる場を提供するとともに、人権教育啓発活動を県内全域に展開(南部・西部地域での展開)するため、サテライト講座を創設し、県民の人権啓発意識の向上を図ります。<県民></p> <p>○「あいぽーと徳島(人権教育啓発推進センター)」事業参加者・利用者数 ②5 31,952人→③0 34,500人</p> <p>○「あいぽーと徳島(人権教育啓発推進センター)」サテライト講座創設 ②8創設</p>	推進			
	33,000人	33,500人	34,000人	34,500人

主要事業実施工程表（5-4 いきいき健康とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 人権啓発に関するデジタルコンテンツを企画提案公募方式等を活用するなど、募集を行い、「県のホームページ」等を活用し、公表・発信することにより、「人権尊重とくしま」づくりを進めます。〈県民〉 ○人権啓発デジタルコンテンツの募集・発信 ⑳募集・発信 	検討・モデル実施	募集・発信		
<ul style="list-style-type: none"> ● 「徳島県人権教育推進方針」に基づき、学校教育及び社会教育において、学習者の発達段階に応じ、あらゆる機会や場を捉えて人権教育を推進するとともに、その具体実践化を図ります。〈教育〉 ○人権教育研究指定校数 ⑳8校→㉑～㉓毎年8校を指定 ○社会教育における人権教育推進者の養成数 ⑳40人→㉑～㉓年間50人 	推進・実践			
	8校	8校	8校	8校
	50人	50人	50人	50人
<ul style="list-style-type: none"> ● インターネットによる人権侵害を予防するため、国等と連携しながら、プロバイダー等に対し、有害情報への適切な対応を促すとともに、利用者一人ひとりがインターネットを正しく利用できるようパネル展示や講座の実施等啓発活動を推進します。〈政策・県民〉 	推進			
<ul style="list-style-type: none"> ● 犯罪被害者やその家族等が受けた被害を回復し、再び平穏な生活を営むことができるよう支援するため、犯罪被害者等への対応を総合的に推進します。（再掲）〈危機〉 	推進			
14 子どもの人権の擁護（長期：1，中期：1-4㉑）				
主要指標 ○里親等委託率 16.1%				
<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な事情により家庭で育てられない子どもに対して、児童福祉施設や里親制度を活用し、より家庭的な環境での養育を図ります。〈県民〉 ○里親等委託率 ⑳14.7%→㉑16.1% 	推進			
	15.2%	15.4%	15.6%	16.1%
<ul style="list-style-type: none"> ● 要保護児童対策地域協議会を活用し、必要な支援を実施することにより、児童虐待の早期発見・早期対応を図るとともに、虐待防止に向けた普及啓発を図ります。〈県民〉 	推進			

基本目標5 「みんなが元気・輝きとくしま」の実現

【重点戦略5】

ふるさと貢献とくしまの推進

主要事業実施工程表（5-5 ふるさと貢献とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 NPO・ボランティアとの連携・協働（長期：1，中期：1-5②）				
主要指標 ○「とくしま県民活動プラザ」利用者数 39,000人				
● 参加と協働による地域づくりを推進するため、「とくしま県民活動プラザ」を拠点として、県民による社会貢献活動に対する総合的な支援を行います。＜県民＞ ○「とくしま県民活動プラザ」利用者数 ㊦38,663人 →㊧～㊨年間39,000人 ○NPO法人数 ㊦327団体→㊨370団体 ○ボランティア・アドプト登録人口 ㊦153,123人→㊨155,000人	推進			
	39,000人	39,000人	39,000人	39,000人
	340団体	350団体	360団体	370団体
	153,500人	154,000人	154,500人	155,000人
● 共助社会づくりを推進するため、住民団体や企業等との協働による公共施設の新たな維持管理への取組みを進めます。＜県民・県土＞ ○官民協働型維持管理の参加団体数（累計） ㊦41団体→㊨50団体	推進			
	44団体	46団体	48団体	50団体
● 「農山漁村（ふるさと）は県民の宝物」との考えに立ち、「まちとむら」の「協働」による農山漁村の保全・活性化を促進します。＜農林＞ ○農山漁村（ふるさと）協働パートナーの協定数（累計） ㊦39協定→㊨58協定	支援			
	49協定	52協定	55協定	58協定
● 住民団体や企業等との協働による地域づくりを進めるため、アドプトプログラムの取組みを推進します。＜県民＞ ○アドプト参加団体数 ㊦1,025団体→㊧～㊨年間1,025団体	推進			
	1,025団体	1,025団体	1,025団体	1,025団体
● 吉野川を全国に誇れる魅力あるブランドとするために進めている、「恵みの宝庫“吉野川”創造プロジェクト」の一環として、「アドプト・プログラム吉野川」を進化・発展させ、県民との協働による堤防治いへの植樹及び植樹後の維持管理等に取り組めます。＜県土＞	推進			

主要事業実施工程表（5-5 ふるさと貢献とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
2 NPO等の自立促進（長期：1、中期：I-5②）				
主要指標 ○認定NPO法人数 5団体				
● 夢と活力でにぎわうまちづくりを進めるため、県民の寄附意識の醸成を図るとともに、資金調達機能の強化や認定NPO法人化の促進などによりNPO等の自立的活動を支援します。＜県民＞ ○認定NPO法人数 ②5 1団体→③0 5団体 ○資金調達機能強化研修への参加者数 ②5 100人→②7～③0年間100人 ○「とくしま県民活動プラザ」において、情報発信を行っているNPO法人等の団体数 ②5 93団体→③0 180団体 ○「ゆめバンクとくしま」への寄附金を活用した助成件数 ②5 4件→②7～③0年間10件 ○NPO等ネットワーク化数 ②5 1→②9 10ネットワーク ○NPO法人が寄附を集めやすくする本県独自の基準を創設 ②7 創設 ○寄附意識の醸成を図るシンポジウムの開催 ②7 開催	推進			
	2団体	3団体	4団体	5団体
	100人	100人	100人	100人
	120団体	140団体	160団体	180団体
	10件	10件	10件	10件
		5ネットワーク	10ネットワーク	10ネットワーク
● 地域の課題解決、雇用創出など地域の活性化を図るため、事業活動を通じて社会的課題の解決を図る事業型NPOを育成します。＜県民＞ ○専門家等の派遣・相談件数 ②5 20件→②7～③0年間20件	推進			
	20件	20件	20件	20件
● 自主的・自立的な社会貢献活動を行うNPO法人の設立支援のための税制措置を講じます。＜経営・県民＞	推進			
3 魅力ある地域づくりの推進（長期：1、中期：I-5②）				
主要指標 ○ふるさと納税寄附件数 1,150件				
● 徳島ファンの輪を広げるため、「ふるさと納税制度」を通じて、県内外に「ふるさと徳島」の魅力をより積極的にアピールするとともに、県出身者など本県ゆかりの方々との連携をさらに強化し、活力と魅力あふれる徳島づくりを進めます。＜政策＞ ○ふるさと納税寄附件数 ②5 212件→③0 1,150件	推進			
	330件	1,050件	1,100件	1,150件

主要事業実施工程表（5-5 ふるさと貢献とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 大学などの高等教育機関との連携強化を進め、高等教育機関の有する知的・人的資源及び社会貢献機能を地域づくりに活かすとともに、包括協定締結大学と連携した「地域連携フィールドワーク講座」を拡充し、大学生による地域の課題解決や活性化に向けた取組みを推進することで、地域の未来を創造する人材を育成します。（再掲）＜政策＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「地域連携フィールドワーク講座」 延べ参加人数（年間） ②5→③0500人 	推進			→
	400人	430人	460人	500人
<ul style="list-style-type: none"> ● 県内大学と連携して、新たに「ボランティアパスポート制度」を創設し、県がボランティアメニューを提供するとともに、大学は学生のボランティア活動を単位に認めることで、学生による地域でのボランティア活動を促進します。（再掲）＜政策＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「ボランティアパスポート制度」の創設・推進 ②7先行実施→②9拡充 	創設・先行実施	推進	拡充	→
<p>4 活力ある農山漁村づくり（長期：3、中期：V-5②）</p> <p>主要指標</p> <p>○「未来ある農山村づくり」に向けたビジョンの作成地区数 12地区</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少社会においても持続的発展が見込まれる農村を創造するため、地域と行政が一体となり、農村地域に存在する資源を活用した将来像の作成とその実現に向けて取り組みます。＜農林＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「未来ある農山村づくり」に向けたビジョンの作成地区数（累計） ②5→③012地区 	推進			→
	3地区	6地区	9地区	12地区
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の集落維持・活性化を図るため、地域住民が中心となって構成される地域コミュニティや複数の集落が連携して実施する、医療・福祉対策、日常生活における交通の確保、地域産業・生業の振興、地域の伝統文化の継承・振興等の取組みを促進します。＜政策＞ <ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティ等における取組事例数 ②6→③047事例 	促進			→
	8事例	21事例	34事例	47事例
<ul style="list-style-type: none"> ● 四国4県が連携して四国のグリーン・ツーリズムを推進するとともに、インターネットを活用したグリーン・ツーリズムのPRを展開し、徳島の農山漁村への入り込み客数の増加を図り、活気あるむらづくりを進めます。＜農林＞ <ul style="list-style-type: none"> ○とくしま農林漁家民宿数（累計） ②530軒→③040軒 ○とくしま農林漁家民宿等の体験宿泊者数 ②51,780人→③02,200人 	推進			→
	34軒 1,900人	36軒 2,000人	38軒 2,100人	40軒 2,200人

主要事業実施工程表（5-5 ふるさと貢献とくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 継続的な農業生産活動による耕作放棄地の発生防止や、集団的かつ持続可能な体制整備、農地・農業用水の保全の取組みにより、農業・農村が有する国土保全や景観維持等の多面的機能の確保を図ります。＜農林＞ <ul style="list-style-type: none"> ○多面的機能の維持・発揮に取り組んだ広域連携組織数 ②5 8組織→③0 20組織 ○多面的機能の維持・発揮のための共同活動実施地区面積 ②5 10,422ha→③0 12,000ha 	支援			→
	12組織 10,500ha	15組織 11,000ha	17組織 11,500ha	20組織 12,000ha
<ul style="list-style-type: none"> ● 棚田など農村景観を形成する貴重な財産の保全・整備・活用による地域コミュニティの新たな醸成と、スローライフを体験できる場づくりを進めます。＜農林＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「ふるさと水と土指導員」の認定数 ②5 49人→③0 54人 	推進			→
	51人	52人	53人	54人
<p>5 オープンデータの利活用促進（長期：1，中期：V-5㊦）</p> <p>主要指標 ○オープンデータ数 1,000件</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 県民の利便性向上等を図るため、市町村や民間の公的団体等とも連携しオープンデータポータルサイトの充実を図り、「宝の山」である公共データの利活用を促進します。＜政策＞ <ul style="list-style-type: none"> ○オープンデータ数（累計） ②5 →③0 1,000件 ○オープンデータ利活用によるアプリケーション数（累計） ②5 →③0 300本 	推進			→
	600件 50本	800件 100本	900件 200本	1,000件 300本

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

【重点戦略1】

世界で活躍する人材の育成

主要事業実施工程表 (6-1 世界で活躍する人材の育成)

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	
1 グローバル人材の育成 (長期: 1, 中期: 1-2②)					
主要指標 ○高校生の留学 (疑似留学体験、海外語学研修を含む) 者数 300人					
●国際性豊かな児童生徒を育むため、日本人としてのアイデンティティの確立や英語教育の充実を図るとともに、海外留学の支援や、欧米諸国、アジア諸国等との交流促進により、異文化理解やコミュニケーション能力の育成などを推進します。 また、小学校英語教育の早期化・教科化を踏まえ、授業で活用できるデジタルコンテンツを作成・配布し、児童の英語によるコミュニケーション能力の育成などを推進します。<教育> ○「ALT*と徳島を学ぶデイキャンプ」の小学生参加者数 (累計) ②⑤69人→③④490人 ○中学生の留学、英語体験宿泊活動の年間参加者数 ②⑤42人→③④120人 ○高校生の留学 (疑似留学体験、海外語学研修を含む) 者数 ②⑤106人→③④300人 ○「英語学習デジタルコンテンツ」の作成 ②⑨作成	推進				→
		220人	310人	400人	490人
	90人	100人	110人	120人	
	190人	230人	270人	300人	
●優れた「国際感覚」を持つ人材を育成するために、学校の枠を越えて切磋琢磨する「徳島ウインターキャンプ」を創設し、知・徳・体の調和がとれた、将来的に社会の各分野を牽引していく人間力を備えた「Super Student」の育成を図ります。<教育> ○主要大学 (スーパーグローバル大学*) 進学者数 ②⑤280人→③④340人 ○東京大学、京都大学進学者数 ②⑤22人→③④44人	推進				→
		295人	310人	325人	340人
	27人	32人	38人	44人	

主要事業実施工程表（6-1 世界で活躍する人材の育成）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 貿易・投資関連情報の収集・提供や国際ビジネスの即戦力となる人材育成、海外との産業交流の機会の創出等により、県内企業のグローバル展開を支援します。（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <商工> ○徳島県の輸出額 （徳島県貿易・国際事業実態調査、中小企業分） ㊦150億円→㊰170億円 ○徳島県の輸出企業数 （徳島県貿易・国際事業実態調査、中小企業分） ㊦95社→㊰126社 ○県内大学生への留学支援人数（累計） ㊦1→㊰75人 	実施			→
	158億円	162億円	166億円	170億円
	106社	112社	119社	126社
	12人	25人	50人	75人
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校へ日本語講師を派遣したり、研修会を開催したりすることにより、帰国・外国人児童生徒に対する教育を推進します。<教育> ○日本語講師を派遣する対象の児童生徒数 ㊦39人→㊰～㊲年間60人 	推進			→
	50人	60人	60人	60人

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

【重点戦略2】

とくしまオンリーワン学校の創造

主要事業実施工程表 (6-2 とくしまオンリーワン学校の創造)

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)			
	H27	H28	H29	H30
1 徳島ならではの教育の振興 (長期: 1, 中期: 1-2①)				
主要指標 ○学校分散型「チェーンスクール」実施地域数 5地域				
●教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図るため、「総合教育会議」を設置し、本県教育行政の羅針盤となる「徳島教育大綱」を策定します。 また、一貫した学習環境の下で学ぶ機会を選択できる中高一貫教育のさらなる充実とともに、人口減少社会に対応した新しい教育として、小規模化する学校を教育資源や地域の社会教育施設等を相互に活用することにより、多様な学びを保障する「新しい小中一貫教育(徳島モデル)」として県内に普及するなど、地域の特性を活かした新たな教育モデルの実践に取り組みます。<政策・教育> ○「徳島教育大綱」の策定・推進 ⑰策定 ○学校分散型「チェーンスクール※」実施地域数 ⑳1地域→㉑5地域 ○学校一体型「パッケージスクール※」実施地域数 ㉒1地域→㉓3地域	推進			
	5地域 1地域	5地域 2地域	5地域 3地域	5地域 3地域
●大学との連携のもと、授業改善による指導力向上に向けた実践研究を実施し、その成果を県内全域に普及することにより、本県児童生徒の学力の向上を推進します。<教育> ○「学力・学校力向上拠点校」の設置 ㉔設置	設置	推進		

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）									
	H27	H28	H29	H30						
<p>● 子供の学びの連続性を踏まえ、教育の質の向上を図るため、小・中学校間における教員の人事交流を推進します。また、グローバル人材の育成に向け、新しい教育課程に対応した英語教育の充実を図るため、小学校英語専科教員の配置を推進するとともに、小・中・高・特別支援学校の教員を対象に、英語教育充実のための研修を推進します。特に、小学校の教科化を踏まえ、小学校教員の受講者数を拡大します。＜教育＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校間における教員の人事交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> ㉕1人→㉗15人 ○小学校英語専科教員の配置 <ul style="list-style-type: none"> ㉕4人→㉗12人 ○英語教育充実のための研修における小学校教員の受講者数（累計） <ul style="list-style-type: none"> ㉕120人→㉗380人 	推進			→						
<p>● 各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動を実施し、活力ある教育活動を展開していくため、県下2地域で高校再編を進めます。また、地域活性化や地域に根ざした教育を展開するため、時代に対応した新学科等の設置や学科再編等を行います。＜教育＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校の再編地域数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕1地域 	推進		1地域	→						
<p>● 生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、インターンシップや資格取得を促進するなど、県下全域におけるキャリア教育を推進します。＜教育＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校におけるインターンシップの実施率（全日制・定時制） <ul style="list-style-type: none"> ㉕82.9%→㉗100.0% 	推進	92.0%	95.0%	97.0%	100.0%	→				
<p>● テレビ会議システム等のICTを活用した公立学校での遠隔指導・授業や交流学习、研修、会議等を推進します。＜教育＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テレビ会議システムの利用回数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕514回→㉗～㉙年間550回 ○高校での双方向遠隔授業・講座の実施回数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕5回→㉗20回 	推進	550回	550回	550回	550回	5回	10回	15回	20回	→
<p>● ICT活用教育の充実を図るため、ICTを活用した授業実践についての教員研修を推進します。＜教育＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用した授業実践の研修参加者数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕377人→㉗～㉙年間400人 	推進	400人	400人	400人	400人	→				

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 「徳島県幼児教育振興アクションプランⅡ」により、幼児の生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図ります。また、幼稚園・保育所・認定こども園・家庭・地域・行政等が連携し、幼保合同の教員研修や行事の実施など総合的な幼児教育の展開を図ります。</p> <p><教育></p> <p>○幼稚園と保育所の連携の実施の割合 ㉕85.2%→㉙90.0%</p>	促進			→
	86.0%	87.0%	88.0%	90.0%
<p>● 児童生徒の豊かな心を育むため、スクールカウンセラーの配置拡充や、スクールソーシャルワーカーの増員等を図ります。また、問題行動の未然防止・解消につながる取組みを推進するために、実践研究の成果を踏まえ、徳島版予防教育の普及・啓発を行うとともに、より高度な知識を有する専門家による「学校問題解決支援チーム」の充実を図ることにより、いじめ・不登校をはじめとする児童生徒の多様な悩みに対応する支援体制の一層の強化を図ります。</p> <p><教育></p> <p>○スクールカウンセラーの配置 ㉕緊急事態に対するスクールカウンセラーの緊急支援体制の整備 →㉙県立学校への派遣拡充</p> <p>○スクールソーシャルワーカー配置数（再掲） ㉕9人→㉙14人</p> <p>○徳島版予防教育 ㉕実践研究→㉙県内小中学校に普及</p>	推進			→
	11人	12人	13人	14人
<p>2 充実した学びの推進（長期：1、中期：1-2①）</p> <p>主要指標 ○「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率 国語・算数（数学）で全国平均正答率以上</p>				
<p>● すべての学校・園に学力向上検討委員会を設置し、学力向上推進員を中心に児童生徒の学力向上を図るとともに、各学校の取組みを情報発信します。<教育></p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率 ㉙調査で対象となっている 国語・算数（数学）で全国平均正答率以上</p>	推進		全国平均正答率以上	→
<p>● 子どもの読書活動推進計画に基づき、県内全域で読書習慣の定着を図ります。<教育></p> <p>○一日10分以上読書（新聞等を含む）をする児童生徒の割合 小5 ㉕86.5%→㉙90.0% 中2 ㉕79.8%→㉙85.0%</p>	推進			→
	87.0% 80.0%	88.0% 83.0%	89.0% 84.0%	90.0% 85.0%

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 就学前教育と小学校教育とのつながりを円滑にするため、保育所・幼稚園・小学校の適切な連携の在り方についての研究を進め、成果を普及します。＜教育＞ ○幼小の教師間の合同会議や研修会を行う割合 ②580.9%→③090.0% 	推進			→
	82.0%	84.0%	87.0%	90.0%
<ul style="list-style-type: none"> ● 小・中学校のより円滑なつながりと学力向上を図るため、小中一貫教育についての研究を進め、成果を普及します。＜教育＞ ○小・中学校の教師間で合同の会議や研修会を行う割合 ②563.0%→③090.0% 	推進			→
	65.0%	73.0%	81.0%	90.0%
<p>3 豊かな心と健やかな体の育成（長期：1、中期：1-2②）</p> <p>主要指標</p> <p>○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において全国平均以上の種目数（全34種目中） 17種目</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒の実態把握をもとに、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施し、児童生徒の体力向上を図ります。また、「元気なあわっ子憲章」を制定し、子供たちが健康について学び、自ら考え、実践できるよう、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して取り組みます。特に、子供たちの望ましい生活習慣の定着を図るため、すべての小中高校で生活習慣改善計画を策定し、実践に取り組むことにより、肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。さらに、地場産物を活用した学校給食の推進や、食に関する指導の充実のために、栄養教諭の配置を拡充し、徳島の産物や食文化への理解を深めるなど、徳島ならではの魅力ある食育を推進します。＜教育＞ ○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において全国平均以上の種目数（全34種目中） ②59種目→③017種目 ○「元気なあわっ子憲章」の制定（再掲） ②7制定 ○肥満傾向の児童生徒数（小中学校）（再掲） ②5,437人→③0H25年度比8%減 ○学校給食に地場産物を活用する割合（再掲） 過去10年間の平均32.7%→②7~③035% ○小中学校への栄養教諭の配置人数（再掲） ②549人→③060人 ○栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を実施する学年の割合（再掲） ②511.1%→②955.5% 	推進			→
	11種目	13種目	15種目	17種目
	2%減	4%減	6%減	8%減
	35%	35%	35%	35%
	52人	54人	57人	60人
	33.3%	44.4%	55.5%	55.5%
<ul style="list-style-type: none"> ● 牟岐少年自然の家を活用し、地域住民の参画を得て、地域の自然や文化活動を活かした自然体験、交流体験、食育等を推進します。＜教育＞ ○牟岐少年自然の家を拠点とし、地元住民との交流を含む自然体験・交流体験等への参加者数 ②5100人→③0400人 	推進			→
	250人	300人	350人	400人

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 道徳教育の充実を引き続き取り組むとともに、家族と一緒に話し合うなど家庭や地域と連携して道徳教育を推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○道徳の時間の授業参観を実施している学校の割合 小②⑤93.0%→③⑩100.0% 中②⑤83.5%→③⑩90.0% 	推進			→
<ul style="list-style-type: none"> ● ICTを活用した「手軽にできる運動」のランキング判定システムを運用し、楽しみながら、児童生徒の運動習慣の確立を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○小・中学生の「ランキング判定システム」の参加グループ数 ②⑤805グループ→③⑩3,000グループ 	94.0% 84.0%	96.0% 86.0%	98.0% 88.0%	100% 90.0%
<ul style="list-style-type: none"> ● ICTを活用した「手軽にできる運動」のランキング判定システムを運用し、楽しみながら、児童生徒の運動習慣の確立を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○小・中学生の「ランキング判定システム」の参加グループ数 ②⑤805グループ→③⑩3,000グループ 	推進			→
<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学生の「ランキング判定システム」の参加グループ数 ②⑤805グループ→③⑩3,000グループ 	1,500 グループ	2,000 グループ	2,500 グループ	3,000 グループ
4 地域に開かれた学校づくり（長期：1，中期：I-2①）				
<p>主要指標 ○「スーパーオンリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組み 4事例</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域の教育・文化の創造拠点」として、全国そして世界を目指す学校独自に企画した徳島ならではの取組みや研究活動を展開することにより、特色ある教育活動のレベルアップとグローバル人材の育成を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「スーパーオンリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組み ②⑤4事例→③⑩27～30年間4事例 	推進			→
<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域の教育・文化の創造拠点」として、全国そして世界を目指す学校独自に企画した徳島ならではの取組みや研究活動を展開することにより、特色ある教育活動のレベルアップとグローバル人材の育成を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「スーパーオンリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組み ②⑤4事例→③⑩27～30年間4事例 	4事例	4事例	4事例	4事例
<ul style="list-style-type: none"> ● 公立学校に「コミュニティ・スクール[*]」を導入し、地域に開かれた学校づくりを進めます。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「コミュニティ・スクール」モデル校数（累計） ②⑤21校→③⑩33校 	推進			→
<ul style="list-style-type: none"> ● 公立学校に「コミュニティ・スクール[*]」を導入し、地域に開かれた学校づくりを進めます。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「コミュニティ・スクール」モデル校数（累計） ②⑤21校→③⑩33校 	24校	27校	30校	33校
<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちが、放課後や土曜日、休日等における多様な学習や体験活動及び地域住民との交流活動等を行う豊かな環境づくりを推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○放課後や週末等における教育・体験活動の実施率 ②⑤35%→③⑩90% 	推進			→
<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちが、放課後や土曜日、休日等における多様な学習や体験活動及び地域住民との交流活動等を行う豊かな環境づくりを推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○放課後や週末等における教育・体験活動の実施率 ②⑤35%→③⑩90% 	45%	60%	75%	90%
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の小・中学校区で、読み聞かせや昔遊びなどの教育支援活動、登下校の見守り、学校施設の環境整備などを行う団体を、「学校サポーターズクラブ」として認証し、学校支援の体制づくりを推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○学校サポーターズクラブの登録数 ②⑤52団体→③⑩90団体 	推進			→
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の小・中学校区で、読み聞かせや昔遊びなどの教育支援活動、登下校の見守り、学校施設の環境整備などを行う団体を、「学校サポーターズクラブ」として認証し、学校支援の体制づくりを推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○学校サポーターズクラブの登録数 ②⑤52団体→③⑩90団体 	69団体	76団体	83団体	90団体

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 地域に開かれ信頼される学校づくりを推進するため、自己評価や学校関係者評価を活用した、学校評価システムの充実・改善を図ります。＜教育＞</p> <p>○学校関係者評価の実施率 （幼稚園、小・中・高校、特別支援学校） ②⑤100%→②⑦～③⑩100%</p>	推進 100%			→ 100%
<p>5 安全・安心な学校づくり（長期：Ⅰ，中期：Ⅱ-2）</p> <p>主要指標 ○県立高等学校施設耐震化率 100%</p>				
<p>● 学校施設を「よく・ながく」使い続けるために、耐震改修、エコ改修等を推進します。＜教育＞</p> <p>○県立高等学校施設耐震化率（再掲） ②⑤84%→②⑦100%</p> <p>○市町村立小・中学校施設耐震化率（再掲） ②⑤97%→②⑦100%</p> <p>○エコスクール化県立学校数（再掲） ②⑤29校→③⑩45校（全校）</p>	推進 100%			→ 100%
<p>● 地域住民の積極的な参加による防犯・交通安全・防災の総合的な学校安全ボランティア活動の支援を行い、幼児・児童生徒の安全確保を図る取組みを継続的に推進します。＜教育＞</p> <p>○学校安全ボランティア数 ②⑤12,661人→②⑦～③⑩12,000人</p> <p>○児童生徒の交通事故発生件数 ②⑤349件→②⑦～③⑩年間300件以下</p> <p>○地域と学校が連携した防災活動の実施率 ②⑤100%→②⑦～③⑩100%</p>	推進 12,000人 300件以下 100%			→ 12,000人 300件以下 100%
<p>● 通学路等における児童・生徒の安全対策を推進するため、「子ども110番の家（車）」の支援、「自主防犯活動用自動車（青色回転灯装着車）※」を活用したパトロール実施団体などのボランティアと連携し、子ども見守り活動を強化します。＜警察＞</p>	推進			→

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

【重点戦略3】

徳島の強みを活かす教育の展開

主要事業実施工程表（6-3 徳島の強みを活かす教育の展開）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 「6次産業化教育プログラム」の充実（長期：1，中期：I-2①）				
主要指標 ○6次産業化商品のプロデュース数 10件				
●農工商教育の活性化を図るため、平成27年3月に策定した「徳島県農工商教育活性化方針」に基づき、高校における農工商教育の活性化に取り組むとともに、農工商が連携し、 <u>徳島ならではの地域資源を十分に生かした6次産業化に対応した教育を推進します。</u> ＜教育＞ ○6次産業化商品のプロデュース数（累計） ㉕→㉟10件	推進 1件	4件	7件	10件
●徳島大学「生物資源産業学部」の創設を支援するとともに、農業系のコースを持つ専門高校や農業大学校、アグリビジネススクールとの連携を強化し、6次産業化を担う人材を育成します。（再掲）＜政策・農林＞ ○「生物資源産業学部」の創設 ㉠創設		創設	推進	
●農工商連携による生産・加工・販売が一体化した6次産業化に対応した教育を行うとともに、高等教育機関等との接続も視野に入れた専門学科を設置し、地域活性化を担う即戦力を育成します。（再掲）＜教育＞ ○県立高校「6次産業化専門学科」の設置 ㉡設置	準備		設置	推進
●豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、地域資源に恵まれた地域において、林業に関する新たな教育を展開します。（再掲）＜教育＞ ○県立高校卒業者のうち、林業関連従事者数（累計） ㉕→㉟15人 ○県立高校「林業関係学科」の設置 ㉢設置	推進 3人	6人	10人	15人
●産業技術の進展や企業が求める人材の育成を図るため、産業界や大学と連携し、専門教育の充実に取り組むとともに、高校生の活動を広く県民にアピールします。＜教育＞ ○高校生産業教育展における来場者数 ㉕1,000人→㉟1,500人	推進 1,200人	1,300人	1,400人	1,500人

主要事業実施工程表（6-3 徳島の強みを活かす教育の展開）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
2 特別支援教育の推進（長期：1，中期：1-2③）				
主要指標 ○「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携した実践研究の事例数 40件				
● 障がいのある子供とない子供が、共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築に向け、多様な学びの場の充実や、特別支援学校のセンター的機能の充実と専門性向上を図るため、専門家と連携するなど、県下全域におけるきめ細かな特別支援教育の充実を図ります。＜教育＞ ○「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携した実践研究の事例数（累計） ②5→③0 40件	推進	20件	30件	40件
● 教員が幼児・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援ができるように、研修内容の充実を図り、専門性の向上に取り組みます。＜教育＞ ○特別支援教育に関するe-ラーニング研修システムへの年間延べアクセス数 ②5→③1, 400件	推進	1,000件	1,200件	1,400件
● 企業の障がい者雇用への理解を推進するとともに、生徒の就労意欲や技能向上を図るなど、特別支援学校生徒の自立のための取組みを強化します。＜教育＞ ○県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率 ②5 97%→②7~③0 100%	推進	100%	100%	100%
● 併置する2つの学校としてスタートした徳島視覚支援学校、徳島聴覚支援学校において、両校教員の連携による幼児・児童生徒一人一人のニーズに応じた特別支援教育を展開します。＜教育＞ ○徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校両校教員の連携・協働による、地域の学校等への相談支援回数 ②5 連携準備→③0 400回	推進	350回	400回	400回
● 高等学校において、発達障がい等のある生徒の支援充実を図るため、新たに将来の社会的自立に向けた新たな学習内容を取り入れた教育（自立活動）を推進します。＜教育＞ ○「自立活動」の内容を取り入れた学習活動実施校数 ②5→③1 10校	推進	1校	3校	10校

主要事業実施工程表（6-3 徳島の強みを活かす教育の展開）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				
	H27	H28	H29	H30	
3 発達障がい者（児）への支援（長期：1，中期：1-3②）					
主要指標 <ul style="list-style-type: none"> ○「発達障がい者総合支援センター」の就労支援件数 1,500件 					
<ul style="list-style-type: none"> ● 発達障がい者（児）を支援する施設を集約した「全国に先駆けた」総合的な支援体制（ゾーン）の充実を図るため、県西部に新たな拠点を整備し、県下全域で発達障がい者（児）とその家族が抱える「不安の軽減」及び発達障がい者の「自立と社会参加」の促進を図るとともに、教育・医療・就労の各機関との連携により、きめ細やかな発達障がい者（児）の支援を推進します。（再掲）＜保健・商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「発達障がい者総合支援センター」の就労支援件数 <ul style="list-style-type: none"> ②⑤ 968件→③⑩ 1,500件 ○「発達障がい者総合支援センター」の相談件数 <ul style="list-style-type: none"> ②⑤ 2,469件→③⑩ 3,500件 ○発達障がい児支援専門員養成数 <ul style="list-style-type: none"> ②⑤ 1人→②⑦～③⑩年間15人 ○「発達障がい者総合支援プラン（仮称）」の策定 <ul style="list-style-type: none"> ②⑦策定 ○「発達障がい者総合支援センターアイリス（美馬市）」の開設 <ul style="list-style-type: none"> ②⑦開設 ○「アイリス」と「西部テクノスクール」が連携した職業訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ②⑦実施 	推進				
		1,200件	1,300件	1,400件	1,500件
		2,900件	3,100件	3,300件	3,500件
		15人	15人	15人	15人

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

【重点戦略4】

地域がにぎわう文化・スポーツ教育の推進

主要事業実施工程表（6-4 地域がにぎわう文化・スポーツ教育の推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 「文化芸術教育」の強化（長期：3，中期：I-2①）				
主要指標 ○高校生による地域連携事業に参加した地域住民等の満足度（アンケート調査） 85%				
<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術教育の拠点となる「文化芸術リーディングハイスクール」を指定し、芸術を学ぶ生徒の技術力と教員の指導力を向上させ、地域の文化芸術を担う人材を育成します。また、高校生による地域活性化を図るため、文化芸術やスポーツ、食育等による地域と連携した取組みを推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「文化芸術リーディングハイスクール」の指定 <ul style="list-style-type: none"> ㉗ 指定 ○高校生による地域連携事業に参加した地域住民等の満足度（アンケート調査） <ul style="list-style-type: none"> ㉕→㉟85% 	指定・推進			
	70%	75%	80%	85%
<ul style="list-style-type: none"> ●次代の「あわ文化」を担う人材を育むため、徳島県中学校文化連盟と連携して、学校や市町村の枠を越えた文化芸術の発表の場である「徳島県中学校総合文化祭」を充実し、中学生の文化芸術力を高めるとともに、全国へ向けて発信します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「徳島県中学校総合文化祭」の創設 <ul style="list-style-type: none"> ㉗ 創設・実施 	創設・実施	推進		
2 トップアスリートの育成（長期：3，中期：V-4）				
主要指標 ○全国高等学校総合体育大会の入賞（団体・個人）数 22団体・個人				
<ul style="list-style-type: none"> ●有力選手を特定の高校へ集め、指導体制を整備するとともに、中学校、高校及び各競技団体等関係機関の三者間での連携強化を進めるなど、競技力向上のための基盤強化を図ります。また、早い段階での有力選手の発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考した上で中学校段階での指導体制強化を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○全国高等学校総合体育大会の入賞（団体・個人）数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕11団体・個人→㉟22団体・個人 ○全国中学校体育大会等の入賞（団体・個人）数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕9団体・個人→㉟13団体・個人 	推進			
	17団体・個人	18団体・個人	20団体・個人	22団体・個人
	10団体・個人	11団体・個人	12団体・個人	13団体・個人

主要事業実施工程表（6-4 地域がにぎわう文化・スポーツ教育の推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 全国高校総体や国民体育大会において上位入賞を目指す高校生トップアスリートを育成するため、全国大会上位成績の他県強豪チームを招待し、交流試合等を実施します。トップレベルの競技力を体感することにより、チームや個人の競技力向上を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「とくしまスポーツキャンプ」の創設 <ul style="list-style-type: none"> ㉗創設 	創設	推進		→
<ul style="list-style-type: none"> ● 平成24年度に開校した鳴門渦潮高校「スポーツ科学科」の充実した施設・設備を活用し、スポーツの拠点校としてより高度で質の高いスポーツ教育を行い、本県スポーツ科学の普及・振興を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○徳島県高等学校総合体育大会等での鳴門渦潮高校の優勝種目数 <ul style="list-style-type: none"> ㉘1種目→㉚8種目 	推進			→
	5種目	6種目	7種目	8種目

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

【重点戦略5】

若者が創るとくしまの推進

主要事業実施工程表（6-5 若者が創るとくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 未来をつくる若者の創造（長期：1，中期：1-5①）				
主要指標 ○「地域連携フィールドワーク講座」延べ参加人数 500人				
● 大学などの高等教育機関との連携強化を進め、高等教育機関の有する知的・人的資源及び社会貢献機能を地域づくりに活かすとともに、包括協定締結大学と連携した「地域連携フィールドワーク講座」を拡充し、大学生による地域の課題解決や活性化に向けた取組みを推進することで、地域の未来を創造する人材を育成します。 （再掲）＜政策＞ ○「地域連携フィールドワーク講座」 延べ参加人数（年間） ②5→③0 500人	推進			
	400人	430人	460人	500人
● 県内大学と連携して、新たに「ボランティアパスポート制度」を創設し、県がボランティアメニューを提供するとともに、大学は学生のボランティア活動を単位に認めることで、学生による地域でのボランティア活動を促進します。（再掲）＜政策＞ ○「ボランティアパスポート制度」の創設・推進 ⑲先行実施→⑳拡充	創設・先行実施	推進	拡充	
● 「若者に身近な課題」をテーマに、「カフェ」などリラックスした場所で、若者が会社員やNPO職員など、「世代や立場の異なる多様な参加者」と未来志向で対話することによって、課題解決のための新しい視点やアイデアを創出するとともに、地方創生の若手リーダーを育成します。＜県民＞ ○「とくしま若者未来夢づくりセンター」の創設 ⑳創設 ○「とくしま若者未来夢づくりセンター」参加人数 ②5→③0 120人	創設	推進		
		100人	110人	120人
● 県審議会等委員への若者の登用を進め、若者の政策・方針決定過程への参画を促進します。＜県民＞ ○「県審議会等委員に占める若者（40歳未満）」の割合 ③0 8.6%を維持	推進			
● 若者の発想や視点を活かした新たな地域活性化の取組み及び交流人口の拡大を図るため、南部圏域をフィールドとした大学生による研究等を実施するとともに、県外大学生による南部圏域ならではの農山漁村体験や実習の実施、さらに、大学サテライトキャンパスの誘致を促進し、地域振興策の検討や移住・定住のきっかけづくりとする。（再掲）＜南部＞ ○フィールドワーク参加学生数（延べ参加人数） ②5 399人→②7～③0年間 500人	推進			
	500人	500人	500人	500人

主要事業実施工程表（6-5 若者が創るとくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
2 若者の県内就職促進（長期：3，中期：Ⅳ-1㉓）				
主要指標 ○農業系大学生等によるインターンシップ参加者数 525人				
●産学官が連携した学習プログラムやインターンシップを通じて農林水産業や関連産業に対するキャリアを広げ、本県農林水産業を担う人材の育成・確保を進めます。 （再掲）＜農林＞ ○農業系大学生等による インターンシップ参加者数（累計） ㉔106人→㉓525人 ○インターンシップ受入登録事業者数 ㉔→㉓60箇所 ○「農業及び関連分野への就業促進協定（仮称）」の締結 ㉔締結	推進			
	150人 40箇所	275人 45箇所	400人 50箇所	525人 60箇所
●徳島県出身者が多く進学している関西圏の大学（就職支援協定締結大学）の学生と、県内企業等のインターンシップを促進し、学生の職業観の育成を図り、就職のミスマッチを防ぐとともに、県内企業の魅力を認識してもらうことで、県内へのUターン就職を促進します。 （再掲）＜商工＞ ○就職支援協定締結大学と連携した インターンシップの促進 ㉓全大学で実施	調整	促進		全大学で実施
3 青少年の健全育成（長期：1，中期：Ⅰ-2㉔）				
主要指標 ○青少年指導者養成講座参加者数 70人				
●青少年が様々な活動に主体的に参加するためのノウハウを学ぶ機会や、活動を支援する人々との交流の場を提供し、青少年リーダーや青少年活動指導者を育成します。 ＜県民＞ ○青少年指導者養成講座参加者数 ㉔51人→㉓70人	実施			
	55人	60人	65人	70人
●徳島県青少年センターの魅力的な運営を行うことにより、青少年のニーズやライフスタイルの多様化に対応し、更なる利用促進に取り組みます。＜県民＞ ○徳島県青少年センター利用者数 ㉔219,876人 →㉔～㉓年間210,000人	推進			
	21万人	21万人	21万人	21万人

主要事業実施工程表（6-5 若者が創るとくしまの推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）								
	H27	H28	H29	H30					
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校、家庭、地域社会が共通の理解・認識のもとに、青少年に体験の場や機会を提供することにより、自立心や社会性を育成します。＜県民＞ ○少年の日事業、青少年センターまつり等参加者数 ⑳2,331人→㉑2,500人 	実施			→					
	2,400人	2,430人	2,460人	2,500人					
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校、家庭、地域社会や関係機関が一体となって、非行防止と健全育成に取り組みます。＜県民＞ ○「防ごう！少年非行」県民総ぐるみ運動参加者数 ⑳700人→㉑～㉓年間700人 	推進			→					
	700人	700人	700人	700人					
<ul style="list-style-type: none"> ● 「徳島県青少年健全育成審議会」において、青少年の健全育成のために必要な調査・審議を行うとともに関係機関との連絡調整を図ります。＜県民＞ 	推進			→					
<ul style="list-style-type: none"> ● 青少年自身が非行防止について協議し、自らのメッセージを同世代の青少年や保護者等に発する機会を提供します。＜県民＞ 	推進			→					
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における子ども・若者の支援者として「ユースサポーター」を養成し、ネットパトロール活動、フィルタリング利用促進活動による有害環境の浄化及び問題を抱えた子ども・若者への相談・支援活動を行います。＜県民＞ 	推進			→					
<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒による問題行動で課題を抱える小・中・高等学校への支援を充実させるため、市町村教育委員会、関係警察署、青少年育成補導センター、こども女性相談センター等関係機関からなる「阿波っ子スクールサポートチーム（ASST）※」活動の連携を強化します。＜教育・警察＞ 	推進			→					
4 若者目線の情報発信（長期：3、中期：1-2④）									
<table border="0"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">主要指標</td> <td>○「徳島県SNS」利用登録数</td> <td colspan="3">40,000件</td> </tr> </table>					主要指標	○「徳島県SNS」利用登録数	40,000件		
主要指標	○「徳島県SNS」利用登録数	40,000件							
<ul style="list-style-type: none"> ● 県民との意思疎通を図り、県勢の発展につなげるため、ホームページの再構築・機能充実を行うなど、時代に即した広報媒体を有機的・効果的に活用することで、利用者が必要とする情報を積極的かつきめ細やかに提供し、県民の利便性の更なる向上を図ります。（再掲）＜経営＞ ○「徳島県SNS」利用登録数 ⑳13,600件→㉑40,000件 	推進			→					
	24,000件	35,000件	38,000件	40,000件					

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

【重点戦略1】

「大胆素敵とくしま」世界戦略の展開

主要事業実施工程表 (7-1 「大胆素敵とくしま」世界戦略の展開)

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)			
	H27	H28	H29	H30
1 「ゲートウェイとくしま」の推進 (長期: 3, 中期: V-1②)				
主要指標 ○「クルーズ来県者数」 6,000人				
● 観光消費の拡大や地域振興に大きな効果が見込まれる「大型外国クルーズ客船」の徳島小松島港への初寄港を実現させるとともに、徳島小松島港への国内外クルーズ客船の寄港を継続・拡大させるため、広域連携等による積極的な誘致活動や受入態勢の充実強化に取り組み、クルーズ来県者数の拡大を図ります。<県土> ○「クルーズ来県者数」 ②⑤約2,800人→③⑥6,000人 ○「大型クルーズ客船」の初寄港 ②⑦初寄港	推進			
	4,500人	4,900人	5,100人	6,000人
● 「徳島阿波おどり空港」の利用拡大を図るため、エアポートセールスを推進し、航空路線の新規開設を図るとともに、徳島を発着する航空路線の利便性向上、国際ターミナル機能の創設、新規需要の創出を推進します。(再掲) <県土> ○「徳島阿波おどり空港」の就航路線 ②⑤東京線1日12往復、福岡線1日2往復 →③⑥維持・拡大 ○「国際チャーター便」の就航都市数(累計) ②⑤→③⑥2都市 ○「国際ターミナル機能」の創設 ②⑨供用開始	推進		1都市	2都市
● 本県の産業振興と地域活性化を図るため、国際貿易の拠点である「徳島小松島港コンテナターミナル」の利用を促進する各種のより効果的な「貿易振興策」を実施し、新規航路の開設に取り組みます。<県土> ○コンテナ貨物取扱量 ②⑤12,450TEU*→③⑥17,000TEU ○中国・東南アジア航路の開設 ②⑧開設	推進			
	13,500 TEU	15,000 TEU	16,500 TEU	17,000 TEU

主要事業実施工程表（7-1 「大胆素敵とくしま」世界戦略の展開）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 徳島小松島港沖洲（外）地区複合一貫輸送ターミナルの供用に向けた関連施設整備を推進するとともに、「港内の静穏」と「船舶航行の安全」の向上を図るため、防波堤の延伸整備を促進します。＜県土＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○複合一貫輸送ターミナルの整備 <ul style="list-style-type: none"> ㉔工事施工中→㉕供用 ○防波堤の延伸整備 <ul style="list-style-type: none"> ㉖着手→㉗完成 	促進			→
<p>2 「おもてなしの国とくしま」魅力向上の推進（長期：3、中期：V-1②）</p> <p>主要指標 ○県内への外国人延べ宿泊者数 80,000人</p>				
<p>● <u>重点エリアである東アジア・東南アジアに加えて、欧米も誘客の対象とし、海外と徳島阿波おどり空港間のチャーター便の誘致をはじめ、関西広域連合・瀬戸内ブランド推進連合・四国ツーリズム創造機構等と連携した広域観光の推進、徳島の魅力を活かした団体旅行及び個人旅行、教育旅行、医療観光など多様な外国人観光誘客を推進します。＜商工＞</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○<u>県内への外国人延べ宿泊者数</u> <ul style="list-style-type: none"> ㉘32,310人→㉙80,000人 ○<u>関西広域連合との連携によるミラノ万博出展期間</u> <ul style="list-style-type: none"> ㉚20日間出展 ○<u>関西広域連合と連携したムスリム旅行者向けウェブサイトの構築</u> <ul style="list-style-type: none"> ㉛構築 	推進			→
	5万人	6万人	7万人	8万人
	20日間出展			
<p>● 「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」として、「桃源郷のような別世界」と称される高地傾斜地集落の景観や暮らしなど地域独自の強みを活かし、アジアはもとより、米豪欧（アメリカ、オーストラリア、フランス、ドイツ）でも、<u>官民連携によるプロモーションを展開するとともに、外国人観光客受入の核となるDMOの構築や広域観光周遊ルートの推進等に取り組み、外国人観光客の増加を促進します。＜西部＞</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「にし阿波」における外国人延べ宿泊者数 <ul style="list-style-type: none"> ㉜4,880人→㉝13,000人 ○アメリカ、オーストラリア、フランス、ドイツでのプロモーションの展開 <ul style="list-style-type: none"> ㉞→㉟～㊱展開 	促進			→
	7,700人	11,000人	12,000人	13,000人

主要事業実施工程表（7-1 「大胆素敵とくしま」世界戦略の展開）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 外国人向けの観光案内所の運営による情報提供や多言語表記の促進など、外国人観光客の受入環境の充実を図ります。＜政策・商工＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県が整備・補助した 無料公衆無線LANアクセスポイント数 ②⑤→③①700アクセスポイント ○外国語サポートデスクの設置 ②⑦設置 ○個人旅行者対応「多言語・多機能アプリ」の開発 ②⑦開発 	推進			→
	340 アクセス ポイント	640 アクセス ポイント	670 アクセス ポイント	700 アクセス ポイント
<p>● 県西部圏域を災害に強い観光地域とするため、異常気象時や災害発生時における観光客への適切な対応や復興に係る計画「にし阿波観光危機管理マニュアル」の策定に取り組みます。＜西部＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「にし阿波観光危機管理マニュアル」の策定 ②⑧策定 		策定	→	→
			推進	
<p>● 観光地の魅力を向上させるため、主要幹線道路の整備によるアクセス向上に加え、国内外からの観光客が安心して楽しく訪問できる案内標識の整備等、観光地の魅力を向上させる新たな施策を推進します。＜県土＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人にも分かりやすい 観光案内標識の設置基数（累計） ②⑤→③①40基 ○にし阿波～剣山・吉野川観光圏の アクセスルートの整備箇所数（累計） ②⑤5箇所→③①19箇所 ○本四道路と連携したイベントの実施 ②⑤2回→②⑦～③①年間2回 ○既存の「道の駅」のサービス機能強化箇所数（累計） ②⑤→③①10箇所 	推進			→
	10基	20基	30基	40基
	12箇所	15箇所	17箇所	19箇所
	2回	2回	2回	2回
	2箇所	5箇所	7箇所	10箇所
<p>● 県西部圏域の交流人口を増やし地域活性化を図るため、剣山登山や集落めぐり、吉野川八合霧鑑賞など、にし阿波ならではの体験ができる着地型旅行商品や滞在プログラムの開発を促進します。＜西部＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○着地型旅行商品（滞在プログラムを含む）の参加者数 ②⑤305人→③①600人 ○にし阿波体感プログラムイベント参加者数 ②⑤801人→②⑦～③①年間1,000人以上 	促進			→
	450人	500人	550人	600人
	1,000人	1,000人	1,000人	
<p>● 先進的な医療サービスの提供と豊富な観光資源や地域食材を組み合わせた医療観光（メディカルツーリズム）を推進します。＜商工＞</p>	推進			→

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

【重点戦略2】

湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造

主要事業実施工程表（7-2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 「ときめく♥とくしま」観光誘客戦略の展開（長期：3、中期：V-1②）				
主要指標 ○年間の延べ宿泊者数 300万人				
● 「おどる宝島！パスポート」をはじめとする誘客コンテンツの整備、効果的な魅力発信や旅行商品の造成促進等による「観光目的客の取り込み」、コンベンション誘致促進による「ビジネス目的客の取り込み」、「東京オリンピック・パラリンピック」等を見据えた「『訪日外国人2000万人時代』に向けた取組み」を核とする「徳島県観光振興基本計画（第2期）」に基づく戦略的な取組みを推進することにより、観光関連事業者との連携など、官民を挙げた観光誘客を促進します。＜商工＞ ○年間の延べ宿泊者数 ㊦226万人→㊰300万人	推進			
● 付加価値の高い農林水産物や6次化商品、伝統工芸品から特に優れたものを、新たな「とくしま特選ブランド“100選”」に選定するとともに、その魅力や品質を磨き上げてプレミアム化を図り、食と阿波文化の融合により、国内外に強かにアピールします。また、海外アンテナショップを新たに設置し、海外でのフェアや商談会を通じて、「とくしま特選ブランド」の海外市場販路開拓を支援します。＜商工・農林＞ ○選定数（再掲） ㊦57品→㊰100品 ○海外でのフェアや商談会への年間参加事業者数 ㊦23事業者→㊰70事業者	推進			
● 「おどる宝島！パスポート」の充実強化や地元ならではの観光、体験、食などを組み合わせた着地型旅行商品の造成を推進することにより、県内における観光客の周遊と宿泊、リピーター来県を促進します。＜商工＞ ○「おどる宝島！パスポート」の発行数（累計） ㊦2万冊→㊰20万冊	推進			
	260万人	270万人	285万人	300万人
	70品	80品	90品	100品
	35事業者	45事業者	55事業者	70事業者
	10万冊	14万冊	17万冊	20万冊

主要事業実施工程表（7-2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 本県の持つ豊かな自然や食材、伝承された知恵や技術、個性ある郷土芸能など、本県ならではの地域資源を活用した体験メニューを磨きあげていくとともに、教育旅行の受入拡大を支援することで、県民参加型の観光客誘致を推進します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○体験型教育旅行における延べ受入泊数（協議会受入） <ul style="list-style-type: none"> ㊦5,646泊→㊧7,000泊 	推進			
	6,000泊	6,300泊	6,600泊	7,000泊
<ul style="list-style-type: none"> ● 四国4県が連携して四国のグリーン・ツーリズムを推進するとともに、インターネットを活用したグリーン・ツーリズムのPRを展開し、徳島の農山漁村への入り込み客数の増加を図り、活気あるむらづくりを進めます。（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ＜農林＞ <ul style="list-style-type: none"> ○とくしま農林漁家民宿数（累計） <ul style="list-style-type: none"> ㊦30軒→㊧40軒 ○とくしま農林漁家民宿等の体験宿泊者数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦1,780人→㊧2,200人 	推進			
	34軒	36軒	38軒	40軒
	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人
<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外に向けて本県の物産・観光の情報発信を推進するため、県の「大阪・名古屋物産センター」や、「コンビニ型アンテナショップ」のさらなる展開を促進するとともに、全国初となるアニメとコラボレーションした店舗のアンテナショップ認定をはじめ、県外の民間店舗を「阿波とくしまアンテナショップ」として認定し、活用することで効果的な情報発信に努め、県産品の販路拡大・販売促進を図ります。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○マチ★アソビ・サテライトショップ数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦1→㊧3拠点 	推進			
	1拠点	2拠点	2拠点	3拠点
<ul style="list-style-type: none"> ● 県内企業の海外販路開拓・海外展開を支援するため、東アジア・東南アジアを重点エリアとする「とくしまグローバル戦略」に基づき、上海事務所を前線基地として活用し、商談機会の拡大や海外企業と本県企業との交流を推進します。（再掲）＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○商談会・フェア等延べ参加企業数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦79社→㊧100社 	推進			
	88社	92社	96社	100社
<ul style="list-style-type: none"> ● 映像を通じて徳島の魅力を発信するため、徳島を舞台にした映画やドラマ等のロケを誘致・支援します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ロケ支援件数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦14件→㊧25件 	推進			
	20件	20件	25件	25件
<ul style="list-style-type: none"> ● 「関西の台所」を担う「食の宝島」であり、「体験型観光の先進地」でもある徳島ならではの魅力を「観光とくしまブランド」として確立し、多くの観光客に選ばれる徳島を目指して、マスメディアをはじめ、SNSを活用した情報発信や海外におけるプロモーションを展開することにより、広く国内外に向けた認知度の向上を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○観光情報サイトアクセス件数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦70万件→㊧90万件 	推進			
	75万件	80万件	85万件	90万件

主要事業実施工程表（7-2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 吉野川を今後さらに輝かせ、全国へ誇れる「徳島ならではの」の魅力あるブランドとするため、「恵みの宝庫“吉野川”創造プロジェクト」により、吉野川における新たな観光資源の創出や吉野川の歴史・文化・環境に関する講座の開催などに取り組みます。＜県土＞</p> <p>○講座の受講者数 ②⑤76人→②⑦～③①年間100人以上</p>	推進			→
	100人	100人	100人	100人
<p>● 県南部圏域の地域活力を高めるため、圏域の団体や行政が一体となり「アウトドアスポーツの楽園」と呼ばれる環境や豊かな自然から育まれる豊富な食材等地域資源を活用した魅力あるイベント等を開催し地域ブランド力の向上と交流人口の増大を図ります。＜南部＞</p> <p>○「四国の右下・まけまけマルシェ」等による集客数 ②⑤→③①40,000人</p> <p>○トップアスリートプロデュースによる「四国の右下・アウトドアスポーツ」参加者数 ②⑤→③①800人</p> <p>○着地型旅行商品による入り込み客数の拡大 ②⑤→③①3,500人</p> <p>○新たな雇用拡大（累計） ②⑤→③①3人</p> <p>○「南阿波グルメ」の販売拡大 ②⑤15,000千円→③①50,000千円</p>	推進			→
	35,000人	35,000人	40,000人	40,000人
	200人	400人	600人	800人
	500人	1,500人	2,500人	3,500人
	—	1人	2人	3人
	25,000千円	35,000千円	40,000千円	50,000千円
<p>● 本県を訪れる観光客にとって、きめ細かな観光情報の提供や案内、県民との交流など、心のこもった“おもてなし”により、安心快適に徳島旅行を楽しんでいただき、リピーター来県にも繋がるよう、県内全体のおもてなしマインド向上のための啓発に努めます。＜商工＞</p> <p>○「ボランティアガイドおもてなし大賞（仮称）」の創設・顕彰 ②⑦創設・顕彰</p>	創設・顕彰			→
<p>● 本県の優れた自然景観等を有する自然公園などについて、自然景観等の保護や利用の増進を図るため、施設整備を行います。（再掲）＜県民＞</p> <p>○鳴門公園施設内での多言語表記の観光案内板設置率 ②⑤26%→③①100%</p> <p>○登山道と四国のみちの再整備ルート数 ②⑤12ルート→③①15ルート</p>	推進			→
	26%	50%	75%	100%
	13ルート	14ルート	14ルート	15ルート
<p>● 橋梁など道路施設に対する理解を深めるため、吉野川に架かる橋梁を「橋の博物館」としてPRするとともに、観光資源として活用します。＜県土＞</p> <p>○ホームページのリニューアル ②⑤→②⑦構築</p> <p>○橋梁史の作成 ②⑤→②⑦作成</p> <p>○橋梁イベントの開催 ②⑤→②⑦～③①年間1回</p>	推進			→
	1回	1回	1回	1回

主要事業実施工程表（7-2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				
	H27	H28	H29	H30	
2 四季を通じたにぎわいの創出（長期：3，中期：V-1④）					
主要指標 ○「マチ★アソビ」年間参加者数 16万人					
<ul style="list-style-type: none"> ● 全国はもとより海外からも集客力があるアニメイベント「マチ★アソビ」の開催により、徳島の魅力を全世界へ発信し、交流を促進します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「マチ★アソビ」年間参加者数 ②5 11.3万人→③0 16万人 ○海外PRイベント年間参加者数 ②5 →③0 10,000人以上 ● 「とくしまマラソン」の開催により、県民のスポーツ振興や青少年の健全育成を図るとともに、本県の魅力や県民挙げての「おもてなしの心」を全国に情報発信できる本大会の規模を拡大し、更なるにぎわいづくりを実現します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○エントリー数 ②5 1万人→③0 2万人以上 ● 「夏の阿波おどり」はもとより、春と秋の「阿波おどり」の魅力向上を図るほか、有名連の練習風景を観光資源としてPRするなど、阿波おどりの通年活用により、本県を訪れる観光客の周遊と宿泊を促進します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○年間の延べ宿泊者数（再掲） ②5 226万人→③0 300万人 ● 「渦の道」、「あすたむらんど徳島」、「美馬野外交流の郷」などの交流拠点の魅力を高めるとともに、交流拠点を活用したイベントの充実を図り、また、来場者へのアンケートを実施し、意見を踏まえた取組みやサービスを提供することで満足度の向上を図ります。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「渦の道」、「あすたむらんど徳島」及び「美馬野外交流の郷」の来場者数 ②5 93万人→③0 100万人 ● 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」や「とくしまコンベンション支援ガイド」の活用に加え、大会誘致に向けた効果的な助成など本県ならではのコンベンションを提案することにより、コンベンション参加者数の増を目指します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○コンベンション（中四国規模以上）の参加者数 ②5 96,494人→③0 130,000人 	開催				
		13万人	14万人	15万人	16万人
		6千人	7千人	8千人	10千人
	推進				
			1.6万人	1.8万人	2万人
推進					
	260万人	270万人	285万人	300万人	
推進					
	94万人	96万人	98万人	100万人	
推進					
	115,000人	120,000人	125,000人	130,000人	

主要事業実施工程表（7-2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 2019年から2021年にかけて開催される3大国際スポーツ大会の誘致に向けて県内の機運醸成を図るため、競技団体や関係機関との連携による大規模スポーツ大会（500人以上）の開催を誘致し、その定着を図ることにより、競技力の向上に取り組み、スポーツの交流を通じた活気あふれるスポーツ王国づくりを目指します。＜県民＞ <ul style="list-style-type: none"> ○大規模スポーツ大会の開催数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦5大会→㊧～㊨年間4大会以上 ・競技ラフティング世界大会（2017年度開催） 	推進			→
	4大会	4大会	4大会	4大会
3 国際交流の推進（長期：3、中期：V-2）				
主要指標 ○とくしま外国人支援ネットワーク会員数 300人				
<ul style="list-style-type: none"> ● 相談窓口の充実、生活支援講座の開設、市町村等と連携した多言語による情報提供等を行い、在県外国人に対して生活相談等に応じる専門ボランティアの養成を行うとともに、ボランティア、支援団体、行政機関による外国人支援のためのネットワークを形成します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○とくしま外国人支援ネットワーク会員数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦162人→㊧300人 	推進			→
	220人	240人	270人	300人
<ul style="list-style-type: none"> ● 日本人住民の異文化理解の一層の向上を図るとともに、多様な主体による交流イベント等の開催を支援し、国際化による多文化共生を推進します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○国際理解支援講師派遣の件数 <ul style="list-style-type: none"> ㊦48件→㊧70件 	推進			→
	55件	60件	65件	70件
<ul style="list-style-type: none"> ● 友好提携・友好交流先の地域と経済、文化、スポーツ、教育、観光等幅広い分野において、相互にメリットが享受できる国際交流を推進します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○ドイツ・ニーダーザクセン州との友好交流の推進 ○中国・湖南省との友好交流の推進 ○ブラジル・サンパウロ州に在住する本県出身者との交流の推進 	推進			→

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

【重点戦略3】

世界に輝く！「あわ文化」の発信

主要事業実施工程表（7-3 世界に輝く！「あわ文化」の発信）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 あわ文化の創造・発信（長期：3、中期：V-3）				
主要指標 ○阿波人形浄瑠璃公演等入場者数 35,000人以上				
●阿波人形浄瑠璃の一層の振興を図るため、伝統芸能を観光資源として活用し地域の活性化を促進するとともに、後継者育成や伝統芸能の保存・継承のための取組みを進めます。 また、「人形浄瑠璃街道連絡協議会」や関西広域連合と連携して、人形浄瑠璃関係団体の交流などの事業を実施するとともに、徳島ならではの魅力を広く発信します。 さらに、オリンピック・パラリンピック東京大会を見据え、徳島ならではの「文化プログラム」を創造し、関西が一体となって取り組む「関西文化プログラム（仮称）」の1つとして展開することで、あわ文化が関西広域連合の文化施策を牽引します。＜県民＞ ○阿波人形浄瑠璃公演等入場者数 ⑳34,676人 →㉑～㉓年間35,000人以上 ○「文化プログラム」の推進 ㉑～㉓推進 ○「関西文化プログラム（仮称）」の展開 ㉑展開 ○全国規模のベートーヴェン「第九」演奏会を継続的に開催 ㉑推進	推進			
	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人
●鳥居龍蔵博士の業績を国内外に発信することを目的に、鳥居博士の研究に関する博物館や研究機関と連携して資料調査を進め、その成果を踏まえた展示や普及教育事業を行うために、関係機関とのネットワークを広げていきます。＜教育＞ ○連携機関数（累計） ㉑7機関→㉓17機関	推進・情報発信			
	11機関	13機関	15機関	17機関
2 史跡・文化財の活用（長期：3、中期：V-3）				
主要指標 ○埋蔵文化財総合センター利用者数 8,500人				
●徳島県内出土の埋蔵文化財を蓄積している埋蔵文化財総合センターを文化財の公開・活用の拠点として整備し、地域活性化の核となり得る埋蔵文化財をはじめとした文化財の魅力、素晴らしさを発信していきます。＜教育＞ ○埋蔵文化財総合センター利用者数 ㉑7,749人→㉓8,500人	推進			
	7,800人	8,000人	8,200人	8,500人

主要事業実施工程表（7-3 世界に輝く！「あわ文化」の発信）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 史跡と周辺の文化財をつなぎあわせて、各地の博物館・資料館等と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進めます。＜教育＞ ○文化財ボランティア活動人数（延べ人数） ②⑤ 311人 → ②⑦～③⑩年間 350人 	推進 350人	350人	350人	350人
<ul style="list-style-type: none"> ● 史跡・埋蔵文化財についての講演会・ウォーキングを開催し、県民の文化財保護意識を醸成するとともに、県民による文化財の活用を進めます。＜教育＞ ○史跡・埋蔵文化財保護関連行事参加人数 ②⑤ 134人 → ②⑦～③⑩年間 150人 	推進 150人	150人	150人	150人
<ul style="list-style-type: none"> ● 国指定文化財を保全し、活用する取組みを推進するなかで、地域の活性化を図ります。＜教育＞ ○史跡等国指定・選定数（累計） （追加国指定・選定を含む） ②⑤ 14件 → ③⑩ 19件 	推進 16件	17件	18件	19件
<p>3 文化の担い手づくり（長期：3，中期：V-3）</p> <p>主要指標 ○文化の森総合公園文化施設入館者数 70万人</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 文化の森総合公園文化施設において、民間との連携を図るなど魅力ある企画展やイベントの開催を通じ、広く県内外に向けて文化・芸術の感動や体験の場を提供します。＜教育＞ ○文化の森総合公園文化施設入館者数 ②⑤ 669,282人 → ③⑩ 70万人 	推進 67万人	68万人	69万人	70万人
<ul style="list-style-type: none"> ● あわ文化や近現代の優れた芸術作品に直接触れあう機会を設けるとともに、絵本の読み聞かせ講習や、史跡巡り、ワークショップ、古文書解読等の事業により、次代のあわ文化の担い手を育みます。＜県民・教育＞ ○文化の森文化施設普及事業の開催回数 ②⑤ 265回 → ②⑦～③⑩年間 270回以上 ○文学書道館等拠点となる文化施設での講座開催回数 ②⑤ 47回 → ②⑦～③⑩年間 50回以上 	推進 270回 50回	270回 50回	270回 50回	270回 50回
<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒が身近に芸術文化に触れる機会を充実させるとともに、児童生徒を対象に、芸術文化分野での創作活動の支援や伝統芸能分野での担い手育成を行い、地域に根ざした文化の発信活動を支援します。＜教育＞ ○学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数 ②⑤ 10,597人 → ②⑦～③⑩年間 10,000人 	推進 10,000人	10,000人	10,000人	10,000人

主要事業実施工程表 (7-3 世界に輝く！「あわ文化」の発信)

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽文化が息づくまちづくりを推進するため、全国初となる二度目の国民文化祭を契機に設立した、「とくしま記念オーケストラ (とくしま国民文化祭記念管弦楽団)」による本格的なコンサート等を開催し、一流の芸術文化を鑑賞・体験する機会を創出します。<県民> <ul style="list-style-type: none"> ○コンサートの開催数 ②⑤6回→②⑦~③①年間6回以上 ● 文化遺産や芸術文化に関する「人材バンク」の登録を推進するなど、あわ文化教育の創造に取り組みます。<教育> <ul style="list-style-type: none"> ○「人材バンク」登録者数 ②⑤183人→②⑦~③①年間180人 ● 幅広く芸術文化の振興・発展に取り組んできた基盤を生かし、新たなファンを開拓してさらにすそ野を広げ、芸術文化が息づくまちづくりを推進します。<県民> 	開催			→
	6回	6回	6回	6回
	180人	180人	180人	180人
	推進			→

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

【重点戦略4】

世界を体感！「スポーツ王国とくしま」の推進

主要事業実施工程表（7-4 世界を体感！「スポーツ王国とくしま」の推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 スポーツの振興によるにぎわいづくり（長期：3、中期：V-4）				
<p>主要指標</p> <p>○「関西マスターズスポーツフェスティバル」県内大会年間参加者数 15,000人</p>				
<p>● 2019年から2021年にかけて開催される3大国際スポーツ大会（ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック及び関西ワールドマスターズゲームズ2021）のキャンプ地及び競技会場の積極的な誘致活動を展開するとともに、「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の成功に向け、関西全域における生涯スポーツの機運醸成を図るため、「関西マスターズスポーツフェスティバル」を積極的に推進します。</p> <p>また、誘致を見据え、鳴門・大塚スポーツパーク（鳴門総合運動公園）の施設の充実を図るとともに、外国人旅行者等の受入環境を整えます。＜県民・県土＞</p> <p>○「関西マスターズスポーツフェスティバル」 県内大会年間参加者数 ⑫5→⑳15,000人</p> <p>○キャンプ地及び競技会場の誘致決定件数（累計） ⑫5→⑳33件</p> <p>○オロナミンC球場（野球場）照明塔の改築 ⑳完了</p> <p>○公園案内板の多言語表記 ⑳完了</p>	推進			
	14,000人	14,500人	14,500人	15,000人
	2件	2件	3件	
<p>● 2019年から2021年にかけて開催される3大国際スポーツ大会の誘致に向けて県内の機運醸成を図るため、競技団体や関係機関との連携による大規模スポーツ大会（500人以上）の開催を誘致し、その定着を図ることにより、競技力の向上に取り組み、スポーツの交流を通じた活気あふれるスポーツ王国づくりを目指します。（再掲）＜県民＞</p> <p>○大規模スポーツ大会の開催数 ⑫5大会→⑳年間4大会以上 ・競技ラフティング世界大会（2017年度開催）</p>	推進			
	4大会	4大会	4大会	4大会
<p>● 徳島ヴォルティスを通じて、次世代を担う子ども達にプロスポーツのすばらしさを体験してもらおうとともに、スタジアムへの来場を促進する取組みを行い、県内にぎわいの創出を図ります。＜商工＞</p> <p>○小中高生招待者数 ⑫5867人→⑳1,200人</p>	推進			
	900人	1,000人	1,100人	1,200人

主要事業実施工程表（7-4 世界を体感！「スポーツ王国とくしま」の推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 市町村等と連携協力し、プロスポーツを活用したスタジアムのにぎわい創出や、本県を全国にPRする施策を展開します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○徳島インディゴソックスホームゲーム招待者数 ②5 812人→③0 1,000人 	推進 900人	950人	980人	1,000人
<p>2 競技力向上対策の推進（長期：3、中期：V-4）</p> <p>主要指標 ○国民体育大会天皇杯順位 30位台</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 本県の競技力向上のため、企業や大学が実施するスポーツ選手の強化・育成事業に対する支援を行います。また、県出身者が全国大会や国際大会で活躍ができるよう、ジュニア期から優れた素質を有する競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」を継続的に支援するとともに、競技スポーツの重点強化による成果志向型の選手強化を図ります。＜県民＞ <ul style="list-style-type: none"> ○国民体育大会天皇杯順位 ②5 47位→②7～③0 毎年30位台 ○新たな支援制度の創設 ②7 創設 	推進 30位台	30位台	30位台	30位台
<ul style="list-style-type: none"> ● 有力選手を特定の高校へ集め、指導体制を整備するとともに、中学校、高校及び各競技団体等関係機関の三者間での連携強化を進めるなど、競技力向上のための基盤強化を図ります。また、早い段階での有力選手の発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考した上で中学校段階での指導体制強化を図ります。（再掲）＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○全国高等学校総合体育大会の入賞（団体・個人）数 ②5 11団体・個人→③0 22団体・個人 ○全国中学校体育大会等の入賞（団体・個人）数 ②5 9団体・個人→③0 13団体・個人 	推進 17団体・個人 10団体・個人	18団体・個人 11団体・個人	20団体・個人 12団体・個人	22団体・個人 13団体・個人
<ul style="list-style-type: none"> ● 平成24年度に開校した鳴門渦潮高校「スポーツ科学科」の充実した施設・設備を活用し、スポーツの拠点校としてより高度で質の高いスポーツ教育を行い、本県スポーツ科学の普及・振興を図ります。（再掲）＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○徳島県高等学校総合体育大会等での鳴門渦潮高校の優勝種目数 ②5 1種目→③0 8種目 	推進 5種目	6種目	7種目	8種目

主要事業実施工程表（7-4 世界を体感！「スポーツ王国とくしま」の推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				
	H27	H28	H29	H30	
3 生涯スポーツの推進（長期：3、中期：V-4）					
主要指標 ○総合型地域スポーツクラブの会員数 12,000人					
<ul style="list-style-type: none"> ●「総合型地域スポーツクラブ」の創設・育成を支援するとともに、スポーツを活用した健康づくりの体制を整備し、みんなが楽しめる生涯スポーツの普及を図ります。また、県南地域における生涯スポーツの拠点づくりのため、運動公園等の整備を推進します。＜県民・県土＞ <ul style="list-style-type: none"> ○総合型地域スポーツクラブの会員数 ②5 8,640人→③0 12,000人 ○南部健康運動公園の整備 ②9 陸上競技場の着工 ○橘港小勝・後戸地区の緑地整備（スポーツ・レクリエーション振興ゾーン） ②9 整備中→③0 ソフトボール場の2面供用 ●「する」「観る」「支える」など多様なスポーツへの取組みを促進し、運動習慣の確立やスポーツ推進の機運を高めるため、誰もが楽しめるスポーツイベントへの助成や情報発信などをを行い、県民のスポーツ参加機会の拡充を図ります。＜県民＞ <ul style="list-style-type: none"> ○イベント等助成数 ②5 26件→③0 毎年20件以上 ●健康や環境にも好影響をもたらす自転車を活用したサイクルスポーツの普及を図る「自転車でつながる人・まちづくりプロジェクト」を推進し、自転車利用を計画的かつ体系的に推進して、サイクルスポーツを通じて新しい魅力を創出します。＜県民＞ 	推進				→
	10,300人	11,100人	12,000人	12,000人	
	20件	20件	20件	20件	
4 障がい者スポーツの推進（長期：3、中期：I-3②）					
主要指標 ○障がい者トップアスリート講演会実施回数 10回					
<ul style="list-style-type: none"> ●県内小、中、高、特別支援学校において「障がい者トップアスリートによる講演会」を開催し、障がい者スポーツの素晴らしさを伝え、その理解を深めることにより、徳島から2020年東京パラリンピックの気運の醸成を図ります。（再掲）＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○障がい者トップアスリート講演会実施回数 ②5 1回→③0 年間10回 ●国際大会や全国大会で活躍が期待される障がい者スポーツ選手を支援し、本県からパラリンピック及びデフリンピックの出場選手を輩出することにより、障がい者の自立と社会参加へのさらなる意欲の向上と県民理解の一層の推進を図ります。（再掲）＜保健＞ <ul style="list-style-type: none"> ○パラリンピック等育成強化選手数 ②5 1人→③0 年間3人 	推進				→
	10回	10回	10回	10回	
3人	3人	3人	3人		

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

【重点戦略5】

一步先の未来へ！「とくしま新魅力」の発信

主要事業実施工程表（7-5 一步先の未来へ！「とくしま新魅力」の発信）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 4K先進地とくしまの推進（長期：3、中期：V-5③）				
主要指標 ○4K8K関連企業（者）数 10社（者）				
●スーパーハイビジョン（4K8K）の先進地徳島を国内外へ発信するとともに、優れた映像クリエイターを徳島へ集積させるため、「4Kエリア試験放送」や「4K映像コンテスト」を行います。（再掲）＜県民・商工＞ ○4K8K関連企業（者）数 ②52社（者）→③010社（者） ○「次世代プロジェクトマッピング」の創造 ②7実施 ○ケーブルテレビによる4Kエリア試験放送の実施 ②7実施 ○4Kアワードの開催 ②7開催・②8～継続	推進			
	4社	6社	8社	10社
●徳島県が打ち出した共通コンセプト「vs東京」の実践に向けて、その情報発信の核として、豊かな自然や文化の魅力から、多くのクリエイターを惹きつけるという本県の存在感を打ち出すために、世界の映像クリエイターにとって魅力のある地域となることを目指した「実践の場」として、「徳島国際短編映画祭」を開催します。＜政策＞ ○「徳島国際短編映画祭」の開催 ②7開催	開催	継続		
2 「世界遺産」登録への挑戦（長期：3、中期：V-3）				
主要指標 ○国の世界遺産暫定一覧表への記載 記載				
●「四国八十八箇所霊場と遍路道」は「世界に誇る四国の財産」であり、この「かけがえのない文化資産」を全国に、さらには世界へ向けて発信し、人類共有の財産として将来の世代へ保存・継承していくため、四国他県や関係団体と連携して、世界遺産登録を目指した取組みを加速します。＜政策＞ ○国の世界遺産暫定一覧表*への記載 ②8記載		記載	推進	

主要事業実施工程表（7-5 一歩先の未来へ！「とくしま新魅力」の発信）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 「世界三大潮流[※]」の一つに数えられ、渦の大きさは世界最大規模と言われる「鳴門の渦潮」の魅力を全国、そして世界へ向けて発信するとともに、人類共有の財産として保存・継承していくために、徳島県、兵庫県及び関係市・団体が連携して、世界遺産登録を目指した取組みを推進します。＜政策＞ <ul style="list-style-type: none"> ○世界遺産登録に向けた調査研究の実施 <ul style="list-style-type: none"> ②文化的調査研究とりまとめ 		調査研究とりまとめ	推進	→